

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況（令和7年度）総括表

◆基本方針別取組状況

【達成状況（自己評価）の目安】◎：年度目標以上のものが達成できた　○：年度目標が概ね達成できた
△：年度目標の一部が達成できた　×：年度目標が全く達成できなかった、又はほとんど達成できなかった

基本方針	重点取組項目		重点取組項目以外の取組項目数	主な取組内容（重点取組項目以外の取組みも含む）	
	項目数	達成状況			
1 身近なコミュニティづくりの推進	34	◎	29	51	地域の困りごとを地域住民の手でお手伝いする支え合い活動を9地区部会エリアで実施しているほか、16の地区部会エリアで見守り活動を実施し、その内容も安心カードの配布や声かけ、訪問、防犯パトロール活動と連携した見守りなど、地区の実情に応じた様々な方法で実施した。 また、地域住民と近隣の大学、行政が地域課題について話し合い、解決に向けた取り組み活動を通じて地域の関係団体の連携を深めた他、地域食堂やこどもカフェ運営など、様々な形でコミュニティづくりを推進した。
		○	4		
		△	1		
		×	0		
2 交流の場と仲間づくり	33	◎	28	69	高齢者のいきいきサロンは17の地区部会エリアで実施しており、シニアリーダー体操やあんしんケアセンター、いきいきプラザ・センター、健康課による講話などを活用して交流と健康づくりの活動を行ったほか、散歩クラブや体操の会なども行った。 また、子育て世代の交流の場としての子育てサロンも16の地区部会エリアで開催され、その他にも地域のお祭りやスポーツイベント、地域内の障がい者施設の作業支援、行事に地域住民が参加し、交流の場づくりを進めた。
		○	4		
		△	1		
		×	0		
3 社会参加の推進	2	◎	0	32	地区部会や町内自治会の中から、高齢者が地域の各種行事にスタッフとして参加するほか、高齢者向けスマートフォン教室を開催し、地域高齢者の社会参加の促進に努めた。 また、障がい者が避難訓練や避難所運営委員会に参加したり、地域のイベントにおいて障がい者施設で作成する物品の販売をするなど、さまざまなアプローチで社会参加を推進した。
		○	2		
		△	0		
		×	0		
4 地域の福祉力向上、担い手づくり	4	◎	2	13	地域行事などへの参加を呼びかけ、多くの地域住民が地域活動に参加できる機会をつくり、地域での福祉活動への理解と参加の促進に努めた。また、福祉に関する講座等を企画し、福祉活動への理解を深め、新たな担い手育成に努めた。講師として、あんしんケアセンターや健康課、消費生活センター、専門学校の先生などを招き、地域住民の関心を引くテーマで実施した。
		○	2		
		△	0		
		×	0		
5 相談体制、情報提供の場づくり	5	◎	3	29	地域住民からの個々の相談については、町内自治会役員や民生委員が対応するケースが多いが、地区部会が運営している「いきいきサロン」や「子育てサロン」等の中でスタッフが個別に相談に応じたり、子育てサロンで専門の講師を迎えて相談会を開催する地区もあった。 情報提供としては、広報誌の発行やホームページを運用して地域情報の発信を行った。
		○	1		
		△	0		
		×	1		
6 福祉教育の推進	1	◎	1	16	地区部会主催事業における小・中学生と高齢者の世代間交流や小学校での福祉体験講座の実施した。また、わくわくキャンパスや昔遊びを教える活動を通して、未来を担う児童・生徒の「思いやり」や「支え合い」の心を育む福祉教育を推進した。
		○	0		
		△	0		
		×	0		
7 人にやさしい生活環境づくり	9	◎	8	25	防犯パトロールやセーフティウォッチャーを実施し地域の防犯・安全づくりや地域交番・消防団と連携し地域の防犯意識の向上に取り組んだ。 地区内で「こども110番のいえ」の新規協力者増設への取組や児童向けの安全教室を実施し、不審者につかまりそうになった時の逃げ方を訓練した。 防災面では、避難訓練や避難所開設訓練を実施し災害に備えたほか、「赤ちゃんのための防災教室」「ローリングストックと防災食の提案」を開催した。
		○	1		
		△	0		
		×	0		
今年度の振り返り	88	◎	71	235	活動を通じて日常的な見守りや顔の見える関係が深まったほか、専門職と連携した相談・情報提供の強化が図れた。また、地域住民を対象とした講座や小中学生を対象とした福祉体験をとおして、福祉への関心を高めることができた。
		○	14		
		△	2		
		×	1		

今後の課題と方針	地域福祉活動者の高齢化・担い手不足があり、活動を継続していくためには、新たな人材の確保と後継者の育成に取り組むとともに地域の状況に合わせた活動が重要になると思われる。
----------	---

◆区支え合いのまち推進協議会開催状況

回数	開催日	主な議題
第1回	7月 9日（水）	・委員長・副委員長の選任について ・幹事会委員の選出について ・令和6年度の地域活動取組状況報告書の確定について ・高齢者のゴミ出し支援について
第2回	10月22日（水）	・次期地域福祉計画の方向性（案）について ・買い物支援について
第3回	3月18日（水）	・次期地域福祉計画における区支え合いのまち推進協議会について ・市民生活の質を向上させるまちづくりについて ・推進協だより第29号（案）について ・令和8年度のスケジュール（案）について

◆区支え合いのまち推進協議会だより発行状況

号数	発行日	発行部数及び主な配布先
第29号	4月30日（木）	発行部数：6, 670部 主な配布先：町内自治会、図書館、公民館、コミュニティセンター（市民センター）、生涯学習センター、男女共同参画センター、市民活動支援センター、いきいきプラザ（センター）

◆区の地域福祉に関する紹介事例等

◆中央東地区部会エリアにおける地域福祉活動◆

中央東地区部会では、認知症になっても、その人らしく安心して暮らせる地域づくりを目指して、認知症サポーターの養成に取り組んでいます。

まずは、令和7年8月に地区部会役員の約半数にあたる27名が認知症サポーター養成講座を受講し令和8年2月には、地域内の16町内自治会会員向けに、3会場4回に分けて講座を開催し、81名の参加がありました。

講座は、あんしんケアセンター中央・あんしんケアセンター千葉寺と社会福祉協議会中央区事務所が協力して開催し、認知症に関する講義や認知症の方との接し方を考える寸劇、グループでの話し合い等の内容に、各回とも多くの方が熱心に参加していました。

中央東地区部会では、会員の10％にあたる300人のサポーター養成を目標に、3年間かけて認知症サポーター養成講座を実施する予定です。



講座の様子



寸劇の様子

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 都地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
都地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・年4回開催される都地区連協主催の会議を通して、地区連協・スポーツ振興会・社協の3つの団体の行事日程の調整や協力要請等、都地区として連携して活動した。 ・地区部会の中心である民生委員が、各町内自治会とのパイプ役を果たした。			
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・都町リハイムで買物支援対策として、“移動スーパー”を(毎週火曜日10:30～11:00)実施した。			
【人口・世帯数】 9,203人、5,008世帯 【町内自治会数】 9町内自治会 【高齢化率】 25.6% 【地域の特徴】 ○都町、都町1～3丁目を対象としたエリア。 千葉市の政令指定都市移行に伴い、中央区の都町と若葉区の加曽利町に行政区が分かれたことにより、前組織の都加曽利地区部会が、分離分割し設立に至った。		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 継続して見守り活動を実施するとともに、見守りにおける体制の強化を図り、災害発生時においても円滑な避難等ができるよう努めたい。	・地区部会、町内自治会、民生委員が連携し、見守り活動を実施した。 ・都町自治会で月2回(14:00～16:00)、各町内自治会で月2回～4回、タ方子どもたちの見守り活動を実施した。	○	【重点取組項目】 前年度同様 地域内見守り体制について引き続き検討を進める。	
活動事業名			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会の中で、自主防災組織を組織している地域では、年に一度防災訓練を実施した。 ・都地区では「都小学校避難所運営委員会」が設立されており、各町内自治会の防災会関係者が結集し、年に一度、避難訓練を実施した。内容は、非常用トイレの確認と使い方や防災資機材の定期点検等を行った。 ・民生委員が災害時要支援者名簿の申請について情報提供した。			
いきいきサロン			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、子育てサロン「いちごミルク」を月1回実施した。 ・地区部会が、10月に「芋ほり大会」を実施した。 ・都小学校主催の「いちようまつり」が開催され、民生委員のPR活動を実施した。 ・地区部会主催で開催していた「みやこお楽しみ会」を3月に実施した。 ・育成委員会が主体となり、「セーフティウォッチャー」の活動や「こども110番のいえ」の協力等子どもたちの安全を守る環境は整っている。			
子育てサロン			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施などを通して、地域高齢者の閉じこもりの防止や仲間づくり・社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。	・地区部会が、いきいきサロン(体操教室、手芸教室)を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 75歳以上の独居高齢者を対象に年末慰問を実施する。	
散歩クラブ			7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各老人会での活動の違いはあるが、「グラウンドゴルフ」、「カラオケ」、「お茶会」を実施した。 ・町内自治会有志によるラジオ体操を継続して実施した。			
広報紙			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・スポーツ振興会主催の「都地区家族大運動会」を地区部会、民生委員が協力して実施した。			
ボランティア講座			9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサロンの実施を通して、地域の子育て中の親子の孤立化を防止し、仲間づくりの場を設けるよう努めたい。	・地区部会が、子育てサロン「いちごミルク」を月1回実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	子どもが減って、参加者を集める工夫が必要である。
ふれあい食事サービス			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・スポーツ振興会主催の行事(運動会、グラウンドゴルフ)を実施した。			
敬老会	3 社会参加の推進		11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・都地区の9町内自治会のうち、2町内自治会で盆踊り大会を開催した。 盆踊り大会には他の町内自治会の方が参加するなど、交流の幅が広がっている。 ・育成委員会主催の風揚げ大会を1月に実施し、地域の高齢者と子どもの交流を図った。			
見守り活動			12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域の高齢者が、都小学校の行事に協力するとともに、セーフティウォッチャーや子ども110番の家、地域の防犯パトロールに協力した。			
支え合い活動		○	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	【重点取組項目】 施設の運営会議参加や施設訪問等を通して、障がいのある方が地域で福祉活動ができる機会を創出し、社会参加ができるよう努めたい。	・施設の運営会議に参加し、地域における受け入れ体制を整えるよう調整を図った。 ・都町第一町内会では、高齢者のサロンに障がい者も参加して、脳トレクイズを実施した。	○	【重点取組項目】 前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 都地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
都地区部会エリア	4 地域の福祉力 向上、担い手づく り		14 地域福祉活動に参加する機 会の提供や地域福祉に関す る講座の開催	予定: あんしんケアセンターと協働し、講座を実施 する。	・各町内自治会が、あんしんケアセンターと協働で、講座を実施した。			
	5 相談体制、情 報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員が、個別に相談を受け、情報提供した。 ・町内自治会が、個別に相談を受け、情報提供した。。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央 区ふくし・防災ガイド&マッ プ」の活用	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・「都地区部会だより」を年1回発行(11月)し、地域の情報を掲載した。			
	6 福祉教育の推 進		17 地域での福祉教育の推進	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・都小学校の児童を対象に、「わくわくキャンパス」で有志の地域住民が協力し、米づくり等 の体験指導を実施した。			
	7 人にやさしい生 活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・都地区の9町内自治会が、6つの「防犯パトロール隊」を編成し、徒歩によるパトロールを 実施した。 ・「こども110番のいえ」のポスターを掲示することで、こどもたちの安心・安全を見守った。 ・「移動交番」をみやこ図書館で、月1回実施した。 ・各町内自治会で防犯カメラの設置を進めている。			
			19 防災体制の充実	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・都小学校に非常用倉庫を設置し、点検等を行った。 ・各町内自治会で防災資機材の点検や使い方の訓練を実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 末広地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
末広地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員主体の活動でも、問題が発生した場合、町内自治会と連携して解決する体制が整っている。 ・あんしんケアセンター千葉寺と一緒に開催している「地域ケア会議」を開催した。 ・あんしんケアセンター千葉寺主催で、各町内自治会が参加し、地域課題等について情報共有の場となっている「地域住民、福祉・介護専門職交流会」は、フレイル予防の健康体操として実施した。 ・青少年育成委員会、末広中学校、寒川小学校、PTA、民生委員・児童委員等による会議に参加した。				
【人口・世帯数】 12,857人、7,682世帯 【町内自治会数】 4町内自治会 【高齢化率】 20.6%			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員が主体となって活動している(外出補助・話し相手等)。				
【地域の特徴】 ○長洲の一部、末広、千葉寺町の一部、青葉町の一部を対象としたエリア。 地区内に末広街道・大網街道の幹線道路や地区を斜めに横切る京成電鉄の千葉寺駅や青葉の森公園がある。 また、隣接地区の製鉄所跡地に大規模ショッピングセンターができ、交通量の増加など環境が徐々に変わりつつある。 千葉寺駅や青葉の森公園に関わる道路網の整備のため、最近は、末広街道・大網街道とも交通量が増加している。			3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会ごとに、市から「避難行動要支援者名簿」の提供を受け活動した。 ・見守り活動については、3町内自治会が実施している。1町内自治会では、町内自治会と民生委員が連携し活動した。 また、民生委員が日常の活動の中目配り見守りを行った。				
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 地域住民参加型の避難所開設訓練の実施を通して、特に支援を必要とする地域住民が災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・避難所の運営に携わっている避難所運営委員会のスタッフおよび住民も参加で、10月に倉庫や備蓄品の確認などの訓練を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様		
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地域住民が寒川小学校児童の登下校時に、セーフティウォッチャー活動をした。 ・子育てサロンを1会場、月1回実施した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。				
活動事業名			実績に○印	2 交流の場と仲間づくり	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催のいきいきサロンを2会場で月1回程度開催した。 ・老人クラブの活動も活発化してきた。		
いきいきサロン		○	7 地域での健康づくり支援の充実		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催で、グラウンドゴルフ大会を10月に実施し、地区全体の交流を深めた。 ・4町内自治会ごとに老人クラブがあり、グラウンドゴルフを開催するなどの活動を実施した。 ・末広公民館で、週1回、シニアリーダー体操を実施した。 ・千葉寺自治会館でも月1回シニアリーダー体操を実施した。			
子育てサロン		○	8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催で、グラウンドゴルフ大会を10月に実施し、地区全体の交流を深めた。 ・4町内自治会ごとに老人クラブがあり、グラウンドゴルフを開催するなどの活動を実施した。			
散歩クラブ		－	9 子育てサロンの充実		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロンを1会場、月1回実施した。			
広報紙		○	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の障害者福祉委員会とボランティア委員会が、オリーブ玄鼻福祉作業所で毎週水曜日と毎月第3火曜日、ミシンかけやハンガー作り等の作業支援を実施した。 また、心身障害者福祉作業所「青い空」でも月2回、軽作業支援を実施した。。			
ボランティア講座	－	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定：前年度同様の取組みを継続する。		・地域の子どもたちが、地域のお祭り等へ参加し、地域住民と世代間交流を図っている。				
ふれあい食事サービス	－	3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会等の役員は高齢者が中心であり、各団体の行事等ではスタッフとして各種活動をした。			
敬老会	○		13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進		予定：前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
見守り活動	○				4 地域の福祉力向上、担い手づくり	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催のにこにこ体操の中で、あんしんケアセンターを講師に招き、健康に関する講話を実施した。(年10回)	
支え合い活動	○								

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 末広地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
末広地区部会エリア	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員と町内自治会役員が連携して対応した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・広報紙を年1回発行した。(R7年度は3月発行)			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会主催のにこにこ体操の中で、健康に関する講話を実施した。(年10回)			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・自治会が行う防犯パトロールを13エリア月2回ずつ実施した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 寒川地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
寒川地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の役員会で、町内自治会会長、民生委員と情報共有を実施した。		前年度同様	
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:ボランティア活動研修会を実施する。	・地区部会が主体となり、3月にサロン関係、ボランティア募集をテーマに研修会を実施した。年々、ボランティアが減少しており、ボランティア確保に向け力を入れていきたい。		前年度同様	サロンボランティアの高齢化と不足
			3 見守り体制をつくる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が名簿や資料を作成し、6町内自治会で災害時要支援者のうち、見守り希望者に対し、各町内自治会が実施しやすい手法で目配りや声かけなどの見守り活動を実施した。		前年度同様	
		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 災害発生時に備え、「災害時要支援者名簿」を更新するとともに、災害時要支援者の避難訓練等の実施などを通して、災害発生時に円滑な避難ができるような体制づくりに努めたい。	・地区部会で、「災害時要支援者名簿」を更新した。 ・各町内自治会より15名程度の参加で(総人数100名)、災害時要支援者の避難訓練を実施した。同時に、避難所運営委員会の運営マニュアル確認の訓練及び打合せを行った。 ・避難支援体制の充実のための再確認を行った。 ※地区部会主導で寒川地区6町内自治会合同で、実施マニュアル確認の訓練及び打合せを行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	活動の担い手不足が喫緊の課題である。
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・寒川小学校の要請により、PTA・町内自治会有志・民生委員がセーフティウォッチャーとして、児童の登下校の見守り活動を実施した。 ・地区部会が寒川保育所で子育てサロン毎月1回実施した。 ・地区部会が、寒川小学校の課外授業への参加協力を行った。 ・寒川小学校の要請により、「わくわくキャンパス」に地域企業・地域住民が協力した。 ・寒川小学校の要請により、「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 ※令和5年度から子供会が減り、6年度では全ての町内自治会で子供会が無くなった。		前年度同様	
	2 交流の場と仲間づくり			活動事業名	実績に○印			
				いきいきサロン	○			
				子育てサロン	○			
				散歩クラブ	—			
				広報紙	○			
				ボランティア講座	○			
				ふれあい食事サービス	—			
				敬老会	○			
				見守り活動	○			
				支え合い活動	—			
			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:いきいきサロンを6会場で実施する。	・地区部会主体で、いきいきサロンを6会場で実施した。		いきいきサロンの見守りの場としての内容の充実(重点)	サロンボランティアの高齢化と不足
			7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が主体となり、各町内自治会でグラウンドゴルフ大会を実施した。また、ポッチャ大会についても、簡易なルールで実施した。		前年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・寒川小学校1年生の課外授業で、「昔遊び」を地区部会の委員及び地区の有志により実施した。 ・小学校4年生の車椅子体験については、地区部会障がい者委員会が中心となり実施した。 ・社会体育指導員が、地域の野球・サッカー・バレーボール等を実施した。 ・寒川小学校が企業等の協力を得て出前授業を行った。 ・ふれ愛社協まつりでグラウンドゴルフ・ポッチャ大会を行った。		前年度同様	
			9 子育てサロンの充実	予定:子育てサロンを毎月1回実施する。	・地区部会主体で、子育てサロンを月1回実施した。(8月休止)		前年度同様	
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:地域で生活する障がい者について、各町内自治会役員(地区部会役員も含む)や民生委員が地域で見守りを実施する。	・各町内自治会役員(地区部会役員も含む)や民生委員が主体となり、地域で暮らす障がい者の見守りを実施した。 ・「ふれ愛社協まつり」に軽度の身体障がいのある方が参加した。		前年度同様	
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:子育てサロン開催時に各町内自治会から高齢者が参加し交流を図るほか、「ふれ愛社協まつり」やお祭り(祭事)などのイベントを通して世代間交流を図る。	・子育てサロン開催時に、各町内自治会より高齢者が参加し、交流を図ることができた。 ・「ふれ愛社協まつり」で、模擬店やグラウンドゴルフ・ポッチャ大会を開催し、世代間交流を行った。 ・各町内自治会で実施しているお祭り(祭事)は子どもの減少により、子ども神輿等ができない状況である。		前年度同様	
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が実施している「いきいきサロン」「ふれ愛社協まつり」等の各種事業に、高齢者がボランティアとして参加した。		前年度同様	
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:地域で生活する障がい者について、各町内自治会役員(地区部会役員も含む)や民生委員が地域で見守りを実施する。	(No.10と同様)		前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 寒川地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
寒川地区部会エリア	4 地域の福祉力 向上、担い手づく り		14 地域福祉活動に参加する機 会の提供や地域福祉に関す る講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会ごとに、「いきいきサロン」単位で、市の出前講座などを実施した(全6町内自 治会、計6回)。 ・地区部会として、災害時要支援者避難訓練(1回)を実施した。 ・地区部会では、寒川小学校4年生を対象に、車椅子体験講座を年1回実施し、100人の 児童が参加した。		前年度同様	
	5 相談体制、情 報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が主体となり、主に町内自治会の役員・組長や部会役員がその役割を担った。		前年度同様	
			16 福祉情報紙の充実と「中央 区ふくし・防災ガイド&マッ プ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会で、年2回社協だよりを発行した。 ・各町内自治会が定例会の内容を回覧板で知らせた。地区部会のチラシ等も町内自治会 で回覧を依頼した。 ・防災マップを2年～3年に一度、町内自治会が作成している。(R7年度更新無し)		前年度同様	
	6 福祉教育の推 進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 地区部会の各サロン(6会場・町内自治会単位)で 健康講座を実施する。	・地区部会では、寒川小学校4年生を対象に、車椅子体験講座を年1回実施し、100人の 児童が参加した。 ・敬老会に末広中学校・寒川小学校の生徒児童75人が参加し、合唱や演奏する機会を設 け、活動を通じて福祉の心を育んでいる。寒川小学校の要請により、「わくわくキャンパス」 に地域住民が協力した。 ・寒川小学校1年生の課外授業では、地区部会が中心となり、昔遊びを教える活動を通じ て交流を図った。(児童90人が参加) ・地区部会が健康講座を年1回、サロン会場で開催するとともに、サロンごとに市の出前講 座などを実施した。		前年度同様	
	7 人にやさしい生 活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 ※防犯パトロール:回数や人数を増やして実施。	・全6町内自治会ごとに、警察の協力を得て防犯パトロールを実施し、防犯意識を高めた。 ・寒川小学校の要請により、「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。		前年度同様	
			19 防災体制の充実	予定:今年度も災害発生時に備え、地区部会が 「災害時要支援者の避難訓練」と防災訓練を実施 する。また、避難所運営委員会も災害訓練を実施 する。	・地区部会が災害時要支援者の避難訓練を実施するとともに、避難所運営委員会と合同 で6町内自治会一斉の防災訓練を実施した。		前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 ちば中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
ちば中央地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定： ・「歌と踊りの集い」の開催に併せて、各町内自治会、民生委員・児童委員、福祉活動推進員等の交流を実施する。	・地区部会が主催、町内自治会連絡協議会の協賛の下、「歌と踊りの集い」を開催し、各町内自治会、民生委員・児童委員、福祉活動推進員等の交流を実施した。				
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。 ※地域交流会の回数は未定。	・「オーリーブ亥鼻福祉作業所」が年1回実施している地域交流会に参加した。 ・地域住民の個別相談は民生委員を中心に、地区部会役員や町内自治会で対応した。				
【人口・世帯数】 17,954人、10,864世帯 【町内自治会数】 28町内自治会 【高齢化率】 21.9% 【地域の特徴】 ○中央、市場町、長洲の一部、本町、東本町、道場南、鶴沢町、旭町、亀井町、亀岡町、亥鼻、葛城、青葉町の一部を対象としたエリア。 千葉市の歴史、文化、経済の中核的な役割を果たしてきた地域で、繁華街と商店街が多く、また、郷土博物館・青葉の森などの文化・芸術施設も多い。		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 日頃のお付き合いの中での見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・民生委員・福祉活動推進員及び町内自治会の協力をいただきながら、個別対応ではあるが見守り活動を継続して実施している。 ・民生委員・児童委員が中心となり、緊急通報システムの広報啓発活動を行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	地域における見守り活動の拡充・展開にあたって、対象となり得る方々へ声かけ等を行っても拒否されることが多々あり、地域展開が課題である。	
		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 防災訓練の実施などを通して、特に支援を必要とする地域住民が、災害発生時においても円滑な避難等ができるよう努めたい。	・3か所の避難所運営委員会で、毎月会議を開催し、年1回開催している防災訓練において、地域住民の参加を呼びかけて、防災意識の向上を図った。 ・一部の町内自治会では、地域住民への広報を行い、防災訓練や防災倉庫の点検作業を実施し、有事に対応できるようにした。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	地域全体としての訓練実施の必要性はあるものの、そのとりまとめや担い手不足の顕在化が課題である。	
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・青少年育成委員会を中心に、小・中学校PTA、子ども会、町内自治会、老人会、地域の事業者等に協力をお願いし「こども110番のいえ」に取り組んだ。 ・登下校時はセーフティウォッチャーとして児童生徒への見守り・声掛けを継続して実施した。 ・主任児童委員が中心となり、本町三丁目自治会館を会場に、小学校の子どもたちの居場所づくりとして「子どもカフェ」をスタートし、月1回程度(学校で市教研のある日に合わせて)実施している。				
活動事業名		実績に○印							
いきいきサロン		○							
子育てサロン		○							
散歩クラブ		－							
広報紙		○							
ボランティア講座	－								
ふれあい食事サービス	－								
敬老会	○								
見守り活動	○								
支え合い活動	－								
	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施などを通して、高齢者が身近なところで、交流する場所と機会の充実を図り、閉じこもりの防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。いきいきサロンは、本町一丁目町内自治会でも実施する予定である。	・地区内の町内自治会では住民交流の場として町内自治会館を開放しているところもある。 ・東本町自治会が自治会館において、いきいきサロン「東本町茶話会」を月1回程度で実施した。 ・本町一丁目自治会が自治会館において、月2回程度いきいきサロンを実施した。	◎	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施などを通して、高齢者が身近なところで、交流する場所と機会の充実を図り、閉じこもりの防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。		
			7 地域での健康づくり支援の充実	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会が地域のスポーツ推進委員と連携して、月1回程度、健康体操や脳トレを実施した。 ・地区部会が地域のスポーツ推進委員やあんしんケアセンターと協力して、「ポッチャを楽しむ会」を年1回実施し、スポーツを通じた健康づくり、住民の交流の場を提供した。 ・一部の町内自治会が健康づくり、交流の場づくりを目的にポッチャを実施した。そのことが契機となり、本町2丁目老人会の立ち上げに繋がり、地域の交流の場を創出した。 ・「歌と踊り」を通じて対象の高齢者への外出機会や、交流や仲間づくりの場を提供するだけでなく、出演高齢者やその応援者も含めた健康づくりに寄与している。				
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・子ども会、青少年相談員、育成委員会で小学生対象に「夕涼み会」を実施した。 ・10月に子ども会、スポーツ推進委員、学校が中心となり、地区親子運動会を開催した。 ・12月に青少年相談員が中心となり、クリスマス会を開催した。 ・地区部会が地域のスポーツ推進委員やあんしんケアセンターと協力して、「ポッチャを楽しむ会」を年1回実施し、スポーツを通じた健康づくり、住民の交流の場を提供した。 ・町会長を中心にグラウンドゴルフ大会を年2回開催した。				
			9 子育てサロンの充実	予定： ・前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロンは2会場を使用し、毎月1回各会場で開催した。幅広く開催情報が行き渡るようSNSで呼びかけを行った。				

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 ちば中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
ちば中央地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。 ※地域交流会の回数は未定。	・民生委員・児童委員が中心となり、「オリーブ亥鼻福祉作業所」が年1回実施している地域交流会に参加した。 ・地区部会が開催している「ポッチャを楽しむ会」には、地域の障がい者にも参加を呼びかけた。 ・民生委員・児童委員が中心となり、「オリーブ亥鼻福祉作業所」と関連事業所で、「封筒の袋詰め」「畑仕事」などの作業協力を通年で実施し、障害への理解と交流を図った。今年度においては、広報の強化により、地域住民も活動に参加した。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。 ・地区部会が開催している「ポッチャを楽しむ会」に、地域の子どもたちにも参加を呼びかける。	・地域住民の交流の場を提供している町内自治会では、気軽に立ち寄れるように囲碁・麻雀・カラオケ等を楽しめる場を設けていただいた。 ・8月に有志町内自治会合同の盆踊りを小学校で開催しており、地域外からの児童・生徒の参加も認め、世代間、地域間交流を図った。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会の事業・行事の運営に、高齢者である役員が多く参加した。 ・地区部会のボランティア委員会が中心となり、年3回、使用済み切手の整理を行っており、また、オリーブ亥鼻福祉作業所の手伝いなどを通して、地域のボランティアの活動の場を提供した。 ・部のシニアクラブの高齢者が、地域活動の一環として、地域の花壇づくりや花壇の管理を行った。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定: ・歌と踊りの集い(敬老会)において、「オリーブ亥鼻福祉作業所」の出店協力依頼を行う。 ・民生委員の高齢者実態調査にあわせて、独自に、聴力・視力などの低下状況について聞き取りを行い、極端に低下している場合は、行政が実施しているサービスを紹介する。	・例年、歌と踊りの集い(敬老会)において、「オリーブ亥鼻福祉作業所」の出店協力を行っているが、今年度は会場の都合がつかず、実施にはいたらなかった。 ・民生委員の高齢者実態調査にあわせて、独自に、聴力・視力などの低下状況について聞き取りを行い、極端に低下している場合は、行政が実施しているサービスを紹介した。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域で福祉に関する講座や研修会等の受講機会の提供(R6～:地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催)	予定: ・民生委員や町内自治会を中心に、認知症や振り込み詐欺の啓発を町内自治会で実施する。 ・歌と踊りの集い(敬老会)において、あんしんケアセンターなどが、振り込み詐欺や健康などについての講話を実施する。	・民生委員が認知症や振り込み詐欺の啓発を町内自治会で行った。 ・子育てサロンにおいて、保健師を招き、「歯っぴー講座」を実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	【重点取組項目】 個別相談への対応などを通して相談の機会を増やし、地域での孤立化の防止に努めたい。	・民生委員があんしんケアセンターと協力しながら、個別の相談に対応した。 ・「歌と踊りの集い」において、デフリンピックにともない手話ソングを参加者と一緒に行った。 ・ポッチャ大会で、あんしんケアセンターより健康体操の指導などもしていただいた。 ・子どもをもつ親に向けて、教育関係者を講師に迎え子育て相談会を開催した。 常に身近なテーマを選定し、注意喚起や情報提供を行っている。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	・社協だより「きづな」を年3回発行し、地域の各種情報を紹介した。			
	6 福祉教育の推進	○	17 地域での福祉教育の推進	【重点取組項目】 敬老会における小・中学生への参加協力を依頼することなどを通して、児童・生徒の福祉学習の機会の創出を図り、将来的なボランティア活動の担い手づくりに努めたい。	地区部会が主催するポッチャ大会において、小学校、中学校の児童・生徒が参加し、福祉の心を育む機会を設けるとともに、高齢者との交流を図った。	◎	【重点取組項目】 地区部会が実施している行事に小・中学生が参加することを通して、児童・生徒の福祉学習の機会の創出を図り、将来的なボランティア活動の担い手づくりに努めたい。	
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	・地域内の一部の町内自治会では、時間を定め複数人のチームで防犯パトロールに取り組んだ。 ・青少年育成委員会でも、防犯パトロールを実施した。			
			19 防災体制の充実	予定: ・前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 中央東地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針				
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)							
中央東地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地区部会で地域の認知症に対する理解を深めるため積極的に研修会を開催するとともに、認知症にかかる取組みを行っている施設の見学、調査等を実施したい。	・認知症に対する理解を深めるため、8月に地区部会役員の約半数にあたる27名が、認知症サポーター養成講座を受講した。 ・2月に、地域内の16町内自治会会員向けに3会場4回にわけて(計81名参加)認知症サポーター養成講座を実施した。 ・地区部会役員12名を対象に認知症VR体験を実施した。	◎	【重点取組項目】 引き続き、認知症サポーター養成講座を実施する。	認知症サポーター養成講座を地域にどのように浸透させていくか。				
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:アンケート結果を基に今後の取組みを検討する。	・一部の地域では、町内自治会の有志がグループを結成し、ゴミ出しや庭木の剪定等の生活支援を行った。							
【人口・世帯数】 15,091人、9,841世帯 【町内自治会数】 16町内自治会 【高齢化率】 23.0% 【地域の特徴】 ○祐光、椿森、道場北、院内、要町を対象としたエリア。 JR千葉駅、東千葉駅、千葉都市モノレール千葉公園駅など交通機関に恵まれ、古くからの一戸建て住宅の他、近年ではワンルームマンションなども増加している。また、地域内には千葉医療センター(旧:国立千葉病院)がある。			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 従来の見守り活動を継続しながら、マンネリ化してきている現状を踏まえ、再度原点に戻り、見守り事業の再構築を図る。	・地区部会が見守り活動を実施した。年4回の各町内自治会での報告会を実施し、その結果をリーダー報告会で報告し、課題や問題点等について協議した。また、ひとり暮らし高齢者に緊急通報システムやあんしん電話を積極的に紹介するなど情報発信に努めた。 ・見守り活動について、初期の目的と意義を地域住民に再認識してもらうため、令和6年度に地区部会が見守り活動に関するアンケートを実施したところ、見守り希望者、協力者ともに増加した。				◎	【重点取組項目】 見守り活動の周知や認知度を上げる。	見守り体制を地域にどのように浸透させていくか。	
活動事業名		実績に○印	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・院内小学校避難所運営委員会が、避難所開設訓練を年1回開催した。 ・椿森中学校避難所運営委員会が、避難所開設訓練も含め年6回活動した。 ・町内自治会が、安否確認訓練を実施した。 ・一部の町内自治会では、安否確認訓練に併せて市の災害時要支援者名簿に沿って、支援者が家の確認をした。							
いきいきサロン		○		5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・セーフティウォッチャーが学校の登下校時の見守り活動を実施しているほか、わくわくキャンパスでは地域の方々が指導者として活動した。 ・民生委員・児童委員が、中学校区のパトロールを週1回実施した。 ・地区部会では、年6回の「ちびっこひろば」を奇数月に実施した。 ・青少年育成委員会が、年2回パトロールを実施した。 ・青少年育成委員会が「子どもの広場」を7月に開催し、多くの子どもたちがビザづくりを楽しんだ。「子どもの広場」では民生委員・児童委員が協力した。						
子育てサロン		○			2 交流の場と仲間づくり	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「いきいきサロン」を3会場でそれぞれ年4回実施した。 ・地区部会が「ふれあい食事サービス」を3月に開催した。 ・公民館が、高齢者の居場所づくりの一環としてお手玉づくり等のスペースを開放した。				
散歩クラブ		○	○				7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 現在行っている「いきいきサロン」や「ふれあい散歩」、「シニアのための健康教室」を継続するとともに、参加者の意見を取り入れるなど、内容の充実と参加者の増員を図っていきたい。また、地域で行っている他の活動の紹介等を積極的にPRしていきたい。	・地区部会が「いきいきサロン」や「シニアのための健康教室」を実施した。 「いきいきサロン」は3会場でそれぞれ年4回実施し、シニアのための健康教室は7月と11月の2回実施した。 ・一部の町内自治会や老人会では、早朝ラジオ体操やグラウンドゴルフ、ボッチャ、シニアリーダー体操を実施した。 ・ふれあい散歩クラブの中で、ノルディックウォークを実施した。	◎	【重点取組項目】 現在行っているいきいきサロンを継続するとともに、新しいメニューを取り入れるなど内容の充実化を図りたい。	いきいきプラザの職員を招くなど、新たなメニューを取り入れる。
広報紙		○		8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進				予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が主催する「社協まつり」では、地域サークルの演芸の発表を行ったり、子ども向けにハロウィンの文化に触れたりした。また、ボランティアとして椿森中学校や千葉聖心高等学校の生徒が開催に協力した。 ・地域住民が院内小「わくわくキャンパス」で指導を行った。 ・スポーツ振興会が「連合体育祭」を開催した。 ・青少年育成委員会が「子どもの広場」を7月に開催し、多くの子どもたちがビザづくりを楽しんだ。「子どもの広場」では民生委員・児童委員が協力した。 ・一部の町内自治会が伝統行事を守るため、こども神輿を実施した。			
ボランティア講座		○										
ふれあい食事サービス		○										
敬老会		○										
見守り活動		○										
支え合い活動		○										

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 中央東地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央東地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 参加者がかなり増員となり、参加者同士の交流が活発となってきたことから、それらに適した内容の充実を図りたい。	・地区部会が「ちびっこひろば」を年6回、奇数月に開催した。参加者が低年齢化し参加者の人数も増え、保護者同士の交流がさかんとなり、大変充実した活動ができた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	子育てサロンを毎月開催してほしいという親もいる。親だけで集まれる場所も提供していきたい。
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会では障がい者施設「まあるい広場」に月1回程度訪問し、障がい者と一緒に草取りや庭の清掃などの活動を実施した。 ・地区部会が主催する「社協まつり」で、障がい者施設「まあるい広場」で作った物品のコーナーを設け、展示販売を実施した。 ・地区部会役員が、「まあるい広場」へ定期的に牛乳パックを届けた。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会が、誰でも参加できる餅つきや盆踊り、体育祭などの行事を実施した。 ・地区部会が「社協まつり」を開催し、世代を問わず多くの地域住民が参加した。 ・一部の町内自治会では、有志がフリーマーケットを実施し、世代を問わず多くの地域住民が足を運んだ。 ・認知症カフェ「お茶の間椿」には、若い世代の方も参加し、世代間の交流を図った。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の事業に、高齢者もボランティアとして参加した。 ・一部の老人クラブでは、公園の清掃活動を行った。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・障がい者施設「まあるい広場」の障がい者の作品や物品の販売に協力した。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続し、あんしんケアセンターの協力により認知症に関する講座を開催する。	・地区部会の「いきいきサロン」で、あんしんケアセンター及び健康課の健康講座、消費生活センターの消費に関する講座などを実施した。 ・地区部会や地域住民の有志が、公民館でシニアリーダー体操や健康体操を実施した。 ・2月に、地域内の16町内自治会会員向けに3会場4回にわけて(計81名参加)認知症サポーター養成講座を実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続するほか、地域への情報提供に地区部会広報紙なども活用する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員・児童委員や町内自治会長が対応した。 ・地区部会では「ちびっこひろば」で相談コーナーを設け、乳幼児の健康についての相談を実施した。 ・地区部会が開催している「いきいきサロン」や「ふれあい食事会」で、スタッフが適宜相談に応じた。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の広報紙は、年4回発行し、地区部会の活動状況等を紹介している。 ・一部の町内自治会では地域の活動情報等を町会だよりとして発行している。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・院内小学校の「わくわくキャンパス」で、民生委員・児童委員や地域住民が指導等を行った。 ・地区部会が主催する「社協まつり」で、椿森中学校や千葉聖心高等学校の生徒がボランティアとして参加し、開催に協力した。また、会場には能登半島地震災害・大雨災害義援金の募集もあわせて実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会で防犯パトロールを実施した。 ・移動交番が椿森公園に開設された。 ・地域住民が「こども110番のいえ」や「セーフティウォッチャー」に協力した。 ・青少年育成委員会が、年2回パトロールを実施している。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 東千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
東千葉地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地域の関係団体が参加する東千葉地区「地域づくり懇談会」において、地域課題について協議している中で課題の共有化が進み、次年度の地域全体の行事予定を策定することができた。 ・各町内自治会長、小中学校のPTA会長が地区部会役員となっており、年3回の理事会を通じて地域情報の共有を図った。 ・「ハッピーボランティア東千葉」を継続して実施した。 ・地域住民、千葉大学、千葉市が連携し、地域課題について話し合い、解決に向けた取り組みを行っている「東千葉 和・輪・環の会」の活動を通じて、地域の関係団体の連携が深まった。 ・地区部会が小学校との共同開催事業を実施した。			
【人口・世帯数】 3,913人、2,148世帯								
【町内自治会数】 7町内自治会								
【高齢化率】 38.6%								
【地域の特徴】 ○東千葉を対象としたエリア。 旧軍用地のあとに建設された県営住宅、公務員住宅、マンション、その他の一般住宅などがあり、昔からの住人と新たに流入してきた新しい住人が共存している。		○	2 支え合い活動の仕組みづくり	【重点取組項目】 「ハッピーボランティア東千葉」の周知と専門機関、地元の薬局・病院との連携をより強化することにより、支援を必要とする地域住民の生活課題の解決を図り、住み慣れた地域で生活ができるよう努めたい。	「ハッピーボランティア東千葉」が、支え合い活動に取り組んだ。 また、対応できないケースについては、コーディネーターが専門機関等を紹介できるように他の支援サービスの一覧を作成した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 買物に困っている高齢者等のために、移動販売を実施する。	
活動事業名								
いきいきサロン								
子育てサロン								
散歩クラブ								
広報紙								
ボランティア講座								
ふれあい食事サービス								
敬老会								
見守り活動								
支え合い活動								
	2 交流の場と仲間づくり	○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 見守り活動を継続して実施するとともに、住民同士の顔合わせ機会を増やし、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・高齢者等、支援が必要な方を対象に、日常的な目配りによる見守り活動に取り組んだ。 ・民生委員が、「安心カード」を75歳以上の高齢者に配布した。なお、一部の町内自治会では、希望者にも配布した。 ・住民同士が気軽に声をかけ合い、認知症の方が安心して暮らせる地域を目指し、「ふくし展」を実施した。	◎	【重点取組項目】 見守り活動を継続して実施するとともに、より身近な単位での茶話会を開くなど住民同士の顔合わせ機会を増やし、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。 また、ハッピーボランティア東千葉をベースにした見守り体制づくりを検討していく。	
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 地域全体の行事を年間で作成し地域住民に知らせる活動を強めるとともに、防災訓練の実施等を通して、災害に備えて避難支援を強化し、災害発生時においても円滑な避難ができるよう努めたい。	・地区部会と4町内自治会が協力し、「合同防災訓練」(防災フェスタ)を実施した。 ・地区部会が集会所一時避難施設運営委員会に参加した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続し、 ・子育てサロンの開催数を年2回から3回に増加。 ・千草台東小学校で1年生と6年生に加えて4年生のポッチャ体験も実施。 ・サマーイベントの開催を4日間から5日間に拡大。	・子育てサロンを年2回実施した。 ・町内自治会と地区部会が共同で実施する「山部ふれ愛まつり」は雨天中止となった。 ・地区部会が主催で千草台東小学校の授業の一環として、1年生・2年生に「昔あそび」を実施した。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が「あいさつ運動」(毎日)を行った。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 また、毎週月曜日午後3時と水曜日19時からは子ども参加の防犯パトロールを行った。 ・地区部会が「ハロウィン・パーティ」の際、子どもたちがお菓子をもらいに行く家として、地域の約15世帯に協力していただいた。参加者は子ども、大人、スタッフを入れて92人となった。 ・学区が3区にまたがっているため、子ども対象の地域行事のチラシ等は学校を通じて配布しており、区をまたがって参加者を受け入れた。 ・地区部会がサマーイベントを実施した。(2日間で、1日目はクレイクラフト作りで19人参加。2日目は花火を楽しもうで184人が参加した。) ・地区部会が「子どもの日まつり」(4月開催 45人参加)、「鬼まつり」(2月開催 130人参加)を新たに企画し、実施した。			
			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「コミュニティサロン」を増やし、実施した。 (うたごえ喫茶[毎月]、スマホ活用会[月2回]、ふれあいマルシェ[週1回]) ・「菜の花サロン」(千草台東小学校の授業の一環とした高齢者との交流会)を年1回実施した。 ・地区部会が「元氣カフェ」(脳トレ、体操、音楽療法)を週1回実施した。 ・住民、千葉大学、千葉市が連携して設立した「東千葉 和・輪・環の会」が、「えんがわサロン(茶話会)」 「ぶらりとカルチャー」を毎週実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 東千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
東千葉地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会がノルディックウォークを週2回実施した。 ・「元気カフェ」(脳トレ、体操、音楽療法)を週1回実施した。 ・地区部会、あんしんケアセンター、和・輪・環の会、民児協による「ふくし展」を開催し健康相談などを行った。			
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・学区が3区にまたがっているため、青少年育成委員会との連携が困難であるが、情報共有に努めた。			
			9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続し、子育てサロン開催回数を年2回から3回に増加。	・子育てサロンを年2回実施した。 ・児童家庭福祉委員会と主任児童委員が中心となって、活動(ソフト面)について創意工夫しながら活動した。			地域保健推進員がいなくなり、対象者の把握が困難な状況である。 乳幼児も減っている。
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「まあいい広場まつり」に参加し、社会参加支援を実施した。 ・町内自治会と地区部会が共同で実施する「山部ふれ愛まつり」は雨天中止となった。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続し、 ・菜の花サロン開催回数を2回から3回に拡充。 ・地域のまつりを通じて、家族三世代など世代間交流の充実を目指す。	・地区部会が「菜の花サロン」(千草台東小学校の授業の一環として、1年生・2年生を対象にした高齢者との交流会)を年1回実施した。 ・町内自治会と地区部会が共同で実施する「山部ふれ愛まつり」は雨天中止となった。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の各種事業や「東千葉 和・輪・環の会」等の住民組織により、活動の場が増えてきている。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が「ぶらりとカルチャー」「スマホ活用の会」「住民作品展」などを実施した。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が週1回実施している「えんがわサロン(茶話会)」では、高齢者の地域社会での活動の場を拡大した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会、民児協、「東千葉 和・輪・環の会」で、「東千葉ふくし展」を開催した。 ・東千葉防災懇話会「くるま座の会」が連協の組織として位置づけられ市や区職員を講師として、防災についての研修を実施した。 ・和・輪・環の会による福祉セミナーを3回実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に地区部会役員や民生委員が対応している。 ・「東千葉 和・輪・環の会」があんしんケアセンター弁天の協力を得て、あんしんケアセンター職員に個別相談に乗っていただき、各種情報の提供をいただいている。 ・「ハッピーボランティア東千葉」で、「ちょっと困った事の相談」の電話受付をしている。 ・地区部会が市職員を講師として、高齢者の食事についての研修会を元気カフェ内で実施した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「社協だより」を年2回発行した。また、「行事案内」は毎月発行した。 ・「東千葉 和・輪・環の会」が発行している「タウンだより」に、住民の“お国自慢”や“わが街のお達人さん”を掲載した。また、新住民の自己紹介コーナーを設け、こうした記事をきっかけに住民の輪が広がり、人材の発掘にも繋がっている。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続し、 菜の花サロンの開催を2回から3回に拡充。	・「菜の花サロン」(千草台東小学校の授業の一環として、1年生・2年生を対象にした高齢者との交流会)を年1回実施した。 ・東千葉防災懇話会「くるま座の会」で市や区職員を講師として、防災についての研修を実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・住民有志が防犯パトロールを、週2回(月曜日・水曜日)行った。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 ・地区部会や自治会が特殊詐欺についての情報提供や警戒の呼びかけを行った。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会単位の防災訓練と、4町内自治会合同防災訓練を実施した。 ・東千葉防災懇話会「くるま座の会」で市や区職員を講師として、防災についての研修を実施した。 ・災害時避難マップは配布した。 ・くるま座の会で防災井戸の清掃(毎週)など維持管理を行った。		一時避難所のマニュアル作成を終えたので、災害時の実際の行動についてシュミレーションをしたい。	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 西千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
西千葉地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進							
【人口・世帯数】			1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の役員に、町内自治会長や民生委員児童委員に就任いただいております。隔月に実施している役員会において、地域の情報交換を実施した。 ・地域でイベントがある場合は、実行委員会として各団体が集まって協力している。 ・例年、特別養護老人ホーム新千葉一輪荘が地域の困りごとについて意見交換する場を設け、町内自治会長や民生委員児童委員、地区部会に参加してもらっているが、コロナ禍以降は実施がなかった。			
14,194人、8,213世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・一部の老人クラブや見守り協力員の方々が、地域で困っている方のゴミ出しや自宅前の掃除などのお手伝いを無償で行うとともに、町内の清掃も実施した。 ・地域のイベント等で協力依頼がある場合は、民生委員児童委員や各町内自治会、地区部会などで協力者を募って協力した。			
【町内自治会数】			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 地域の見守り活動等を通して、災害発生時に円滑に避難ができるような地域づくりに努めたい。	・西千葉地区部会、第5地区町内自治会連絡協議会、第108地区民生委員児童委員協議会の三者協働で、平成19年から見守り活動として、「安心カード・緊急メモ」を作成し、現在は地域のひとり暮らし高齢者や障害者、75歳以上の高齢者を対象に安心カードを配布し、玄関や電話のある場所に設置してもらっている。救急車での搬送時には、連絡先等が明記されているため大変助かったと感謝されている。 ・6町内自治会すべてで、独自の方法により見守り活動を実施するとともに、見守り対象者の更新を行った。向こう三軒両隣での目配りや声かけを実施した。 ・防犯パトロールにおいては、地域住民が「安心・安全」に生活できるよう、不審者情報・詐欺情報・火の用心等を周知し、実施した。 ・民生委員児童委員が、地域に来る移動販売車の利用時において、高齢者や障害者の見守りを行っている。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
【高齢化率】		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 前年度と同様、町内自治会と災害時要支援者に関する情報を共有し、災害時には避難支援を行う体制づくりに努めたい。	・民生委員児童委員が、把握している情報をもとに、災害時要支援者の同意を得て、名簿と対象者を地図に落とし込んだマップを作成し、町内自治会と情報を共有している。名簿とマップは今年度も更新した。 ・災害時には、日常的な見守り活動を行っている協力員が、避難支援を行う体制をとっている。 ・避難所運営委員会が、年1回運営会議を開催した。 ・町内自治会が、自治会ごとに防災訓練を実施した。 ・町内自治会では、行政から災害時要支援者名簿をいただき、実態の把握に努めた。 ・避難所運営委員会が、年1回研修会を開催し、その中で簡易ベッドの組み立て方法やトランシーバーの使い方の講習を行うとともに、備蓄品の確認等を行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
17.5%			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・登戸小学校へ登録した町内自治会(住民)と民生委員児童委員が、セーフティウォッチャーとして登下校時の児童の見守り活動を実施した。 ・地区部会と青少年育成委員会が協力して、「こども110番のいえ」の既存協力者宅の確認と新規協力者宅の増設に努めた。 ・一部の老人クラブが、登戸幼稚園の園児と公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行った。 ・町内自治会主体で、「ごみゼロの日」に小学生と町内自治会が一緒に各公園の清掃活動を実施した。子ども会も同様の活動を行った。 ・一部の町内自治会が、子どもたちの健全育成や地域住民との交流を図る場としてサロンを開催した。 ・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施した。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力した。 ・登渡神社が、秋祭りや節分祭を開催し、多くの子どもたちが参加した。 ・青少年育成委員会が、納涼まつり等の地域行事を実施した。 ・一部の子ども会が、ハロウィンやクリスマス会、もちつき大会などのイベントを実施した。 ・登渡神楽囃子連が、わくわくキャンパスでお囃子を教えた。 ・子ども会が、ラジオ体操を実施した。			
【地域の特徴】			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・6町内自治会が、「高齢者対象サロン」を定期的に開催した。 ・一部の老人クラブが、折り紙や麻雀、映画会、ウクレレ、歌など、高齢者が集う催しを定期的に開催した。 ・地区部会が年2回「いきいきサロン」を、年1回「ふれあい食事サービス」をそれぞれ実施した。			
○登戸、春日、汐見丘町、新千葉の一部を対象としたエリア。 地区内に京成の新千葉駅及び西登戸駅、JRの西千葉駅がある。 隣接する地域に千葉大学、千葉東高校、千葉商業高校等、複数の教育施設がある文教地域。								
活動事業名								
いきいきサロン								
子育てサロン								
散歩クラブ								
広報紙								
ボランティア講座								
ふれあい食事サービス								
敬老会								
見守り活動								
支え合い活動								
	2 交流の場と仲間づくり							

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 西千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
西千葉地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 健康体操教室やシニアリーダー体操などの各種健康に関する行事を通して、地域住民の健康づくりに努めたい。	・地区部会が、中央介護福祉専門学校の先生を招いて、健康体操教室を実施した。 ・社会体育振興会が主催となって、ウォーキングを実施した。 ・シニアリーダーが、三和会館を会場に、シニアリーダー体操を実施した。 ・登戸ラジオ体操会が、毎日、登渡神社でラジオ体操を実施した。 ・一部の町内自治会でも、ラジオ体操を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施した。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力した。 ・登渡神楽囃子連が、わくわくキャンパスでお囃子を教えた。 ・一部の老人クラブが、登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行った。 ・町内自治会主体で、「ごみゼロの日」に小学生と町内自治会と一緒に各公園の清掃活動を実施した。子ども会も同様の活動を行った。 ・バレーボールやバドミントンの愛好会が毎週小学校の体育館で練習しており、社会体育振興会のバレーボール大会、バドミントン大会に参加した。 ・子ども会が、ラジオ体操を実施した。			
			9 子育てサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・0歳から3歳前後の子どもとその保護者を対象に、「よいこの広場」を年6回、登戸1丁目町内自治会館で実施した。 ・3歳以上の子どもと保護者を対象に、「ぴよんぴよんクラブ」を年10回、西登戸会館等で実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・イベントを開催するにあたり、健常者と障がい者の区別なく対応するよう心掛けた。			
		3 社会参加の推進	○	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 前年度と同様、交流会、発表会の開催などを通して地域住民の世代の枠を超えた交流の場づくりに努めるとともに、地区部会、福祉活動推進員が主催となり、サロン活動を実施したい。 なお、令和7年度はバザーを福祉フェスティバルに変更の予定。	・地区部会が、登戸1丁目公園等で10月に「福祉フェスティバル」を実施した。近隣の親子連れ、若者、高齢者が集まり、世代を超えた交流の場となった。 ・町内自治会主体で実施している「清掃活動(クリーンデイ)」や「花壇の花植え活動」等に、大人も子どもも参加し、交流の機会となった。 ・一部の町内自治会では「文化祭」を開催し、大勢の参加者が集まり、地域での交流の場となった。	◎	【重点取組項目】 前年度同様
12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。			・地区部会が実施している「見守り活動」や「福祉フェスティバル」等の各種事業に、高齢者がボランティアとして参加した。 ・一部の老人クラブや見守り協力員が、地域で困っている方のゴミ出しや自宅前の掃除などのお手伝いを無償で行うとともに、町内の清掃も実施した。 ・公園の植木の手入れや管理を高齢者が行った。				
	13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・イベントを開催するにあたり、健常者と障がい者の区別なく対応するよう心掛けた。				
	4 地域福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 交流の場をつくるとともに、地域住民が地域福祉活動の担い手となるきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。 地区部会では、サロン活動を実施する予定である。	・地区部会が、中央介護福祉専門学校の先生を招いて、健康体操教室を実施した。 ・一部の町内自治会では、老人クラブと協力して、認知症や口腔ケア等の福祉講座を開催した。 ・登戸1丁目と登戸・新千葉2丁目の町内自治会合同で8月に盆踊りを町会を問わずの参加自由で開催した。	◎	【重点取組項目】 交流の場をつくるとともに、地域住民が地域福祉活動の担い手となるきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 西千葉地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
西千葉地区部会エリア	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員児童委員や町内自治会の役員が対応している。見守り協力員から民生委員児童委員に相談が繋がる仕組みもできている。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・現在は「ふくし・防災ガイド&マップ」を活用している。 ・各町内自治会で、地域の福祉マップを作成した。 ・地区部会が社協だよりを年1回作成・発行し、地区部会活動のお知らせや活動報告を住民へ周知している。A4版カラー印刷で1,100部作成し、回覧及び配布をした。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・老人クラブが登戸幼稚園の園児と毎年、公園の花植えや水やり、花壇の清掃などを行う活動や、町内自治会主体で「ごみゼロの日」に小学生と町内自治会と一緒に各公園の清掃を行う活動を通じ、児童に地域の一員として活動する機会を設けている。 ・登戸小学校、緑町小学校では、PTAが主体となって「わくわくキャンパス」を実施した。また、1年生を対象に、年1回実施している昔遊び等の体験活動に、地域の方が参加し協力した。 ・地区部会が、中央介護福祉専門学校の協力のもと、健康体操教室を実施した。 ・一部の町内自治会が、老人クラブと協力して、福祉講座を開催した。 ・地区部会が、いきいきサロンの中で災害時の生活支援に関する講習を行った。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・老人会や子ども会、町内自治会、青少年育成委員会等が、地域パトロールを実施し、その中で防犯に関する情報共有を行った。 ・地区部会と育成委員会が協力して、「こども110番のいえ」の既存協力者宅の確認と新規協力者宅の増設に努めた。 ・地域で「あいさつ運動」を実施した。 ・移動交番が、三和会館に開設されている。			
		○	19 防災体制の充実	【重点取組項目】 防災講座や防災訓練の実施等を通して、地域住民が災害時において円滑に避難等ができるよう努めたい。	6町内自治会では、すべてに自主防災会があり、各防災会が、年1回、安全確認、避難訓練、初期消火、応急手当訓練、非常食配布、発電機起動実演、AED訓練、ハイゼックス訓練、起震車、煙体験などの訓練や防災講座を実施しており、赤十字奉仕団と協力している。防災訓練には子どもたちも参加した。	◎	【重点取組項目】 防災訓練の実施等を通して、地域住民が災害時において円滑に避難等ができるよう努めたい。	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針	
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)				
中央地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会や民生委員、育成委員会、子ども会等、地域の関係団体が地区部会に関わっており、地区部会の会合等で連携を図ることを検討した。				
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、いきいきサロンを年15回開催した。				
【人口・世帯数】 8,737人、5,434世帯			3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・弁天町会で、75歳以上のひとり暮らし高齢者のうち見守りを希望する方を対象に、目配りによる見守りを実施した。(新規募集は休止した。)	・地区部会の役員会等で、未実施の町内自治会に対する働きかけは、継続して実施しており、併せて民生委員による個別の見守りも行った。		見守る側の協力者が見つからない。	
【町内自治会数】 6町内自治会			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会ごとに防災訓練は実施しているものの、地区によって訓練内容に差がある。 ・平成30年に設立された弁天小学校避難所運営委員会では避難所運営マニュアルを作成し、令和7年の避難所開設訓練ではマンホールトイレ設置訓練を行ったほか、新たな地域内協力者を加えて人員体制の充実も図った。 ・弁天町会は、千葉市避難行動要支援者名簿を2024年1月に受領し、運用に入った。				
【高齢化率】 16.1%			5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 ・地区部会では、毎朝、消費生活センター前の信号及び弁天4丁目一方通行信号前で見守りを行うとともに、毎週金曜日の下校時に小学1～2年生を対象に消費生活センター前の信号でも見守りを行う。 ・児童の健全育成を図るため、地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞などを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深める。 ・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を隔週の木曜日に実施する。開催時間を14時30分から15時30分とし、5月から2月まで計15回、ソフトボールやキックベースボール等を実施する予定であり、地区部会も協力する。 ・児童は放課後の行事参加者が減少しており、例年実施していたソフトボール大会も参加者が減少しているため、ポッチャへの変更を予定する。 ・地域住民がセーフティウォッチャー登録し、児童を見守る活動を実施する。	・地区部会では、毎朝、消費生活センター前の信号及び弁天4丁目一方通行信号前で見守りを行った。また、毎週金曜日の下校時に小学1～2年生を対象に、消費生活センター前の信号でも見守りを行った。 ・児童の健全育成を図るため、地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞などを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深めた。(参加者130名) ・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を実施した。開催時間を14時30分から15時30分とし、5月から2月まで計11回開催し、落語鑑賞やマジックショー等を実施し、地区部会も実行委員として協力した。 ・地域住民がセーフティウォッチャーとなり、通学路での見守り活動を実施した。		◎		【重点取組項目】 前年度同様
【地域の特徴】 ○弁天、栄町、富士見、本千葉町、新町の一部、新千葉の一部を対象としたエリア。 JR千葉駅周辺の地区で、駅北口側の住宅地や千葉公園、東口側の商業施設や繁華街が共存している地域。									
活動事業名		実績に○印							
いきいきサロン		○							
子育てサロン		○							
散歩クラブ		－							
広報紙	○								
ボランティア講座	○								
ふれあい食事サービス	－								
敬老会	○								
見守り活動	○								
支え合い活動	－								
</									

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		7 地域での健康づくり支援の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会の老人クラブやサークル等で合唱や脳トレを行った。 ・千葉パーク友の会(地区内体操サークル)が、千葉公園運動広場で、毎朝、健康体操を行った。 ・地域を対象に、落語鑑賞会を開催した。(参加者38名〔役員6名を含む〕)			
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 わくわくキャンパスについては従事者の負担等も考慮し、回数を10回に改めて実施する。	・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を実施した。実施時間を14時30分から15時30分に変更の上、5月から2月まで計11回開催し、落語鑑賞やマジックショー等を実施し、地区部会も実行委員として協力した。 ・地区部会と生涯学習センターが共催し、「夏休み親子お楽しみ会」を開催し、児童向けの映画鑑賞などを通して、児童の情操を養うとともに地域の連携を深めた。(138名参加〔役員8名を含む〕)			
			9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、子育て中の親子を対象に、親同士の情報交換や栄養士・歯科衛生士からのお話し、読み聞かせ、親子体操等を内容とした子育てサロンを、年6回実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、千葉公園内の蓮華亭コンサートへの協力を行う。	・地区部会が実施している「社協まつり」でカフェ・ハーモニーと連携協力し、実施した。 ・カフェハーモニーの広報(地域でのチラシの配布)に協力したほか、行事に積極的に参加し、会員の加入を促進した。また、老人クラブが、月2回の定例会の後、カフェ・ハーモニーで食事をし、売上に貢献した。 ・千葉公園内蓮華亭のコンサート開催のため、チラシの作成や配布、会場の設営と片付けなどに地区部会が協力した。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「社協まつり」を実施し、子どもから高齢者まで参加し、世代間交流を図った。(参加者210名〔内ボランティア60名〕) ・地区部会が11月に切り紙アート教室を開催した。(参加者16名〔ボランティア5名〕)			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 防犯パトロールの他、清掃活動も実施する。	・地区部会が実施している各種事業に高齢者がボランティアとして参加した。 ・月1回の町内自治会ごとの防犯パトロールに高齢者も参加した。 ・弁天町会では年3回の清掃活動に高齢者も参加した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 また、千葉公園内の蓮華亭コンサートへの協力を行う。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・いきいきサロンにおいて「筋力体操、脳トレ、認知症対策の講座」を開催するなど、さまざまな事業の中で類似の講座を実施した。 ・地区部会の主催で認知症予防講座を行うなど、地域住民の関心を引く企画を実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会役員、民生委員が個別に対応した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・年3回社協だよりを発行した。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・弁天小学校の「わくわくキャンパス」を実施した。実施時間を14時30分から15時30分に変更の上、5月から2月まで計11回開催し、落語鑑賞やマジックショー等を実施し、地区部会も実行委員として協力した。 ・地区部会とPTA、子ども会、各町内自治会による実行委員会を組織し、社協まつりを企画し実施した。地域の子どもたちも参加した。(参加者210名〔内ボランティア60名〕)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 中央地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
中央地区部会エリア	7 人にやさしい生活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 ・地区部会では、弁天小学校の1～3年生とその保護者を対象に、NPO法人「体験型安全教育支援機構」を講師に迎え、「児童向けの安全教室」を行い、不審者に捕まりそうになった時の逃げ方等を訓練する。 ・町内自治会では、防犯に対する意識の向上を図るため、防犯パトロールを実施することとし、1町会あたり月1回の実施を目標としたい。 ・弁天小学校新1年生を対象に、不審者から声をかけられたときに安心して駆け込めるように「こども110番の家」を訪問する。	・地区部会では、弁天小学校の1～3年生とその保護者を対象に、NPO法人「体験型安全教育支援機構」を講師に迎え、「児童向けの安全教室」を実施し、不審者に捕まりそうになった時の逃げ方等を訓練した。(参加者:親子17組[34名]、地区部会役員7名) ・町内自治会では、防犯に対する意識の向上を図るため、防犯パトロールを実施した。 ・小学校新1年生を対象に、地域内の「こども110番の家」を実際に訪問した。(参加児童45名)	◎	【重点取組項目】 前年度同様 小学校新1年生を対象に、地域内の「こども110番の家」を実際に訪問したい。	
			19 防災体制の充実	【重点取組項目】 ・町内自治会では、避難所運営開設訓練を実施することとし、1町会あたり年1回の実施を目標としたい。	・弁天町会では、4月26日に避難所開設訓練を実施し、マンホールトイレの設置訓練も行った。 また、各町会では防災訓練を実施した。 ・新町では他地区部会エリアも含む学区内合同での新宿小学校避難所開設訓練を行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 新宿地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針						
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)									
新宿地区部会エリア	1 身近なコミュニ ティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協 議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が核となり、民生委員、町内自治会、あんしんケアセンターが参加する役員会 (2か月に1回)などでネットワーク作りを行い、各団体の情報を共有した。									
【人口・世帯数】 13,704人、8,139世帯				2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・拠点を設けての活動は行っていないが、民生委員が個別に対応した。								
【町内自治会数】 5町内自治会			○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 あんしんケアセンターと連携した見守り活動や、 75歳以上の方に対する安心カードの配布などを 通して、災害発生時においても円滑な避難ができ るような地域づくりに努めたい。	・民生委員が主体となり、あんしんケアセンターと連携しながら見守りを行った。また、マン ションについては管理人に見守りを依頼した。 ・町内自治会や老人会では、諸行事を通じて顔見知りになる機会を設け、緊密な人間関係 の構築に努めた。 ・地区部会では、今年度も安心カードを作成し、75歳以上の方へ順次配布できるよう準備を 進めた。また、見守り活動に協力いただける方に、セーフティウォッチャーや近所のさりげ ない見守り活動に参加協力いただいているほか、セーフティウォッチャーのグループライン で安全のための情報共有を行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様						
【高齢化率】 15.9%				4 災害時に支援を必要とする 人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・新宿小学校とポートアリーナに避難所運営委員会が設立され、隔月で会議を開催した。 避難所運営委員会では、避難所に避難してきた人々に対してスムーズな受入れが出来る よう、100人規模での住民参加による避難訓練を実施した。			避難訓練にマンションの 住民の参加が少ない。 子どもの参加が少ない。 障がい者への対応。					
【地域の特徴】 ○新宿、神明町、新田町、出洲港を対象とした エリア。 千葉市のほぼ中心に位置し、近くにはJR千葉 駅や京成千葉中央駅等がある。学区及び周辺 に、デパート等の大型店舗が軒を並べる市内有 数の商業地域がある。新興集合住宅が多く建 設され、ファミリー層が流入してきている。				○	5 すべての子どもを地域で育 てる	【重点取組項目】 地域行事の開催や子育てに関する集いの場づく りなどを通して、子どもたちが地域住民と顔見知り になる機会を設け、地域の中で安全に過ごせるよ うな環境づくりに努めたい。	・町内自治会や子ども会では、餅つき、お祭り、お花見、盆踊り、新年会、敬老会の余興など、 地域の行事に子どもたちが参加し、住民と交流を図った。 ・地区部会では、初めて出産を経験した両親を対象に、子育てに関する悩み相談及び母親 同士の友だちづくりの場として、「ぶち・あんじゅ」を年4回開催した。 母親を対象とした子育てサークル「学びと気づきの教室『mama'sの会』」を月1回(毎月第 3木曜日)開催し、子育て中の親の育児相談を受け付け、子育てに関する悩みに対応した 取り組みを行った。 ・地区部会では民生委員を中心に新宿保育所内の地域子育て支援センター「にこにこルー ム」にボランティアとして参加した。 ・地域住民が、「こども110番のいえ」に協力するとともに、セーフティウォッチャーとして学校 に30名程度登録して登下校時の子ども達の安全を見守っているほか、セーフティウォ ッチャーのグループラインで安全のための情報共有を行った。 ・地区部会が、子ども会の活動に協力した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様					
活動事業名					実績に○印	2 交流の場と仲間 づくり	○	6 ふれあい・いきいきサロンの 充実	【重点取組項目】 ふれあい・いきいきサロンの実施などを通して、 高齢者がの閉じこもりの防止や仲間づくり、社会 参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。 なお、ふれあい・いきいきサロン「ゆうきのサロ ン」については隔月で開催する予定である。	◎	【重点取組項目】 前年度同様			
いきいきサロン					○			○	7 地域での健康づくり支援の 充実	【重点取組項目】 地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、健 康の維持増進を図る機会を設け、介護やフレイル の予防に努めたい。 「歩こう会」や「ポッチャ体験」などの活動をあんし んケアセンターが主催となって実施する予定であり、地域としてあんしんケアセンターの行事に参加 協力していきたい。	◎	【重点取組項目】 前年度同様		
子育てサロン			○		○				8 地域でのスポーツ活動及び 文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・スポーツ振興会で、グラウンドゴルフを実施した。 ・地区部会が、子ども会の活動に協力した。			
散歩クラブ			－						○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサークルの実施などを通して、地域の子 育て中の親子の孤立化の防止や仲間づくりの場 と機会の拡充を図りたい。 なお、老人クラブによる普遊びや折り紙の指導に ついては、再開に向けて検討していきたい。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
広報紙			○											
ボランティア講座			○											
ふれあい食事サービス			－											
敬老会			○											
見守り活動			○											
支え合い活動	－													

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 新宿地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
新宿地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	【重点取組項目】 地域の障がい者福祉施設との交流を通して、地域住民の障がい者と相互理解を図れるよう努めたい。 障がい者福祉施設における「ボランティア活動の再開」や「地域行事とのコラボレーション」については、検討を行っていきたい。	・地区部会の障がい者福祉委員会が、千葉県聴覚障害者協会の就労継続支援B型施設「らいおん工房」で、月1回、広報紙の発送等を手伝うボランティア活動を行い、障がい者との交流を図っているが、新型コロナの影響により再開には至っていない。 ・現在は、月1回ライオン工房で行っているマルシェでの販売品の材料の寄付や販売品の購入協力、イベントの参加などの形で交流は継続している。	○	【重点取組項目】 前年度同様	
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:盆踊りを町内自治会の主催とし、より多くの地域住民への参加を呼び掛ける。	・住民の交流を図るため、各町内自治会での盆踊りや夏祭り、花見等、誰でも参加できる地域行事を実施した。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会の事業の運営に高齢者が参加した。 ・老人会と地域住民が共同で、神社や公園の清掃を行った。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会などのイベントの広報は障害の有無に関わらず、地区部会の協力により地域住民に回覧で広報した。			
	4 地域福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 地域住民に対する福祉活動等への呼びかけなどを通して、地域での福祉活動への理解と参加の促進に努めるとともに、「福祉に関する講座」の開催について検討していきたい。	・地域での公園清掃活動や地域行事などに、地区部会や町内自治会が参加を呼びかけ、多くの地域住民が地域活動に参加する機会を提供した。 ・地域のグループ主催による月一回の千葉港ビーチクリーンへの参加呼びかけについて地区部会が協力した。 ・地区部会のボランティア委員会では「福祉に関する講座」開催に向けた検討を行ったが実施には至らなかった。	○	【重点取組項目】 前年度同様 引き続き、「福祉に関する講座」の開催を検討し、実施したい。	
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員や町内自治会が、地域の方々の個別の相談に応じ、対応が困難なケースについては、専門機関の情報を提供した。 ・隔月に実施する地区部会の役員会において、地域の関係団体の情報共有を図った。役員会には、あんしんケアセンターに毎回参加いただき、情報共有するとともに、高齢者に関する相談が気軽にできる関係性の構築に努めた。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	【重点取組項目】 広報紙の発行や、防災マップの見直し等を通して、福祉や防災に関する情報の入手機会を増やし、地域での孤立化の解消を図れるよう努めたい。	・地区部会が広報紙を年2回発行した。 ・各町内自治会で月2回、地域をパトロールしながら危険箇所等の確認を行いながら、防災マップを作成しているが、進捗状況にはばらつきがある。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会があんしんケアセンターと連携して、新宿中学校1年生を対象に、認知症に関する講座を開催し、認知症に対する理解の促進を図った。			
	7 人にやさしい生活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 防犯パトロールなどの実施を通して、地域住民が安心してその地域で生活ができるよう、防犯意識の向上を図れるよう努めたい。	・町内自治会では、月2回、防犯パトロールを実施するとともに、地域交番(京成交番)や消防団と連携し、地域の防犯意識の向上に取り組んだ。 ・防犯パトロールの際には、防犯灯(街路灯)の不点灯等の確認を行っているほか、セーフティウォッチャーのグループラインで安全のための情報共有を行い、学校だよりもに掲載してもらっている。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			19 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 避難訓練や防災訓練の実施などを通して、地域住民が自身や家族等の安全が守れるよう、防災意識の向上を図れるよう努めたい。	・新宿小学校とポートアリーナにの避難所運営委員会が設立され、隔月で会議を開いた。避難所運営委員会では、避難所に避難してきた人々に対してスムーズな受入れが出来るよう、住民参加による避難訓練を実施し、100人強が参加した。 ・多くの人々が参加しやすいよう、災害時に必要な情報を避難所運営委員会がホームページで発信するなど、住民の意識向上に取り組んだ。 ・避難所運営委員会で段ボールベッド組立やマンホールトイレの使用実技訓練、赤十字救急法などを取り入れた防災訓練を年1回開催した。 ・防災の日に、「無事ですタオル」で安否確認訓練を行っている町内自治会もある。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	避難訓練にマンションの住民の参加が少ない。 子どもの参加が少ない。 障がい者への対応。

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 千葉みなと地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
千葉みなと地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地域での各種会議を通して、地域の各種団体の強みを活かしながら地域課題の解決に向けて各種団体の連携を図るよう努めるとともに、アンケート結果に対し、新たな地域活動についての検討を行いたい。	・町内自治会や民生委員・児童委員、行政等の関係機関・団体が集まり、「千葉みなと地区部会」、「千葉みなと地区自治会連合会」、「新宿中学校避難所運営委員会」の定期会合をそれぞれ2か月に1回開催し、地域課題の意見交換を行った。 ・地区部会が千葉市みなと活性化協議会に協力し、「さんばしまつり」を実施するなど、他団体とのさらなる連携を図った。 ・地区部会が、子どもの居場所づくりについての検討を行った。	◎	【重点取組項目】 地域での各種会議を通して、地域の各種団体の強みを活かしながら地域課題の解決に向けて各種団体の連携を図るよう努める。	・支え合いサポート隊について、支えてくれるボランティアの体制充実を図ることが課題である。
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・個別のケースについて、町内自治会長や民生委員が個別に支援にあたった。 ・地区部会の中に「ボランティア委員会」を立ち上げ、その中でひとり暮らしの高齢者を対象とした「支え合いサポート部隊」を設立した。			
			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 地域の高齢者等などの情報把握などの活動やセーフティウォッチャー活動を通して、安全・安心な地域づくりの体制構築が図れるよう努めたい。	・地区部会が、民生委員の協力によりひとり暮らしの高齢者や要介護者等の実態を把握した。 ・地区部会がセーフティウォッチャーを募集し、地域安全・地域福祉の充実化を図る取り組みを行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	・見守りを必要とする方の把握については、民生委員だけでなく地域全体が体制づくりを進める必要があることが課題である。
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・避難所運営委員会では、災害時に備え、隔月で定例会議を開催した。 10月には避難所開設訓練を実施し災害に備えた。			
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。 なお、前年度実施した保護者を対象としたアンケートについては、その結果に対し新たな地域活動についての検討を行いたい。	・地域全体でセーフティウォッチャーとして活動し、地区部会が引き続き地域のセーフティウォッチャーを募集した。 ・こども110番のいえに、地域住民・店舗・企業・マンション管理組合が協力した。 ・地区部会がセーフティウォッチャーやこども110番のいえの協力者募集のポスターを作成し、マンション等に掲示するなど、協力者の確保に向けての協力を実施した。 ・地区部会が、子どもの居場所づくりについての検討を行った。 ・一部の町内自治会では、子どもたちの健康づくりを目的として夏休み期間中にラジオ体操イベントを実施した。			
		2 交流の場と仲間づくり	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みに加えて、地区部会ではいきいきサロンを実施する。	・高齢者の交流を図るため、一部の町内自治会では集会所を利用し、シニアリーダー体操等を実施した。 ・落語会、チャイ飲み会、音楽会等、高齢者が交流する場を各町内自治会で実施し、地区部会でその情報を共有した。 ・ピアポート千寿苑が、毎月第1・第3土曜日の午後11時、高齢者を含め誰もが参加できるサロンを開催した。 ・一部のマンションでは、高齢者向けのサロン活動を行った。 ・地区部会では、サロン等における拠点の確保について検討を行った。			
			7 地域での健康づくり支援の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・高齢者の健康増進を図るため、一部の町内自治会では集会所を利用し、シニアリーダー体操を実施した。 ・地区部会が地域住民の交流を図ることや健康づくりを目的として「ウォーク&クリーンラリー」をあんしんケアセンターと共催で実施した。 ・一部のマンションではウォーキングイベントを実施した。 ・一部の町内自治会では、子どもたちの健康づくりを目的として夏休み期間中にラジオ体操イベントを実施した。			
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。 なお、前年度活動再開に向けて検討した「歩こう会」については再開する予定。	・町内自治会ごとに、夏祭り、クリスマス会、文化祭等を活動を実施した。 ・地区部会が千葉県社会福祉協議会と共催で、子どもと高齢者を対象に「e-スポーツ体験会」を開催した。 ・一部の町内自治会で、文化祭を実施しており、高齢者が趣味を披露する場となった。 ・一部の町内自治会で「いきいきマーじゃん」を開催した。			
			9 子育てサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・一部の町内自治会が、年1回、新1年生の親子の交流会を実施した。 ・マンションが実施している夏祭りで交流を図った。 ・地区部会では、近隣地区部会が実施するサロンについてのパンフレットを配布するなどの情報提供を行った。 ・主任児童委員が中心となり、子育てサロンの実施に向けて検討を行った。 ・地区部会では、サロン等における拠点の確保について検討を行った。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、千葉県社会福祉協議会が主催する障害者向けイベントに協力した。			
	【人口・世帯数】 10,639人、4,699世帯 【町内自治会数】 11町内自治会 【高齢化率】 14.8% 【地域の特徴】 ○中央港、千葉港、問屋町を対象としたエリア。 ほとんどの住民がマンションに居住している。	活動事業名	実績に○印	いきいきサロン	○			
				子育てサロン	-			
				散歩クラブ	-			
				広報紙	○			
				ボランティア講座	-			
				ふれあい食事サービス	-			
				敬老会	-			
				見守り活動	-			
				支え合い活動	○			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 千葉みなと地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
千葉みなと地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みに加えて、マリノコート町内自治会でサロンを実施する。	・マンションが実施している夏祭り等で交流を図った。 ・ピアポート千寿苑が、毎月第1・第3土曜日の午後1に、誰もが参加できるピアポートカフェを開催し、地区部会も参加するなどの協力を行った。 ・町内自治会が実施している公園清掃には企業も協力しており、地域の大人や子どもも多く参加し、世代間交流の機会となった。 ・地域の夏祭りの中で、高齢者と子どもたちが紙芝居による交流を行った。 ・地区部会が千葉県社会福祉協議会と共催で、子どもと高齢者を対象に「e-スポーツ体験会」を開催した。 ・地区部会が地域住民の世代間も含めた交流を図ることや健康づくりを目的として「ウォーク&クリーンラリー」をあんしんケアセンターと共催で実施した。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・一部の町内自治会で、文化祭を実施しており、その中で高齢者が趣味を披露した。 ・一部の町内自治会で、クリーンアップ作戦の案内をし、活動への参加を呼び掛けた。 ・一部の町内自治会で「いきいきマーじゃん」を開催した。 ・地域の高齢者がセーフティウォッチャー活動を行い、地域安全・地域福祉の充実化を図った。 ・町内自治会が実施している公園清掃に、地域の高齢者が参加し、清掃活動を行った。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会として情報収集を行うなど、活動の実施に向けて検討を行った。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催		・地区部会として情報収集を行うなど、活動の実施に向けて検討を行った。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内での問い合わせに対し、個別に民生委員や町内自治会役員が対応した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会やマンションなどが地域サイト「ちばみなと.jp」と連携し、地域のイベント情報の発信に努めた。 ・地区部会だよりを年1回発行した。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が実施している公園清掃に地域の子どもたちが参加し、清掃活動を行うことで、地域の一員として活動した。 ・地域のセーフティウォッチャーが、児童・生徒に対し、挨拶などの声掛けを通して、児童・生徒に対する福祉教育・情操教育を行った。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域全体でセーフティウォッチャー活動を行った。 ・こども110番のいえに、地域住民・店舗・企業・マンション管理組合が協力した。 ・地区部会がセーフティウォッチャーやこども110番のいえの協力者募集のポスターを作成し、協力者の確保に協力した。 ・一部の町内自治会では、月1回、防犯パトロールを実施した。 ・一部の町内自治会が、防犯カメラや防犯パトロールののぼり旗を継続して設置した。			
		○	19 防災体制の充実	【重点取組項目】 災害時への対応に関する会議の開催や各種訓練の実施を通して、地域住民が災害時において円滑に避難等ができるよう努めたい。	・避難所運営委員会では、災害時の対応を協議するため、隔月で定例会議を開催した。 10月には避難所開設訓練を実施し災害に備えた。 ・各マンションで、災害時の支援体制を整備するとともに、トランシーバーの使い方についての訓練を実施した。 ・各マンションでは、年1回、消防による初期消火訓練等の防災訓練を実施した。 ・一部のマンションでは、安否確認と救急介護についての訓練を実施した。 ・一部のマンションでは、近隣の町内自治会を含めて地域防災の意見交換会を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	・震災時では在宅避難を最優先としているところから、その啓蒙を図っていく必要がある。

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 蘇我地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
蘇我地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地域での各種会議を通して、地域の各種団体の強みを活かしながら役割分担を明確にしつつ、地域課題の解決に向けて各種団体の連携を図るよう努めたい。	・民児協定例会(月1回)の会議に、あんしんケアセンター職員にも参加していただき、問題点の共有化を図った。 ・コミュニティ懇談会【地域運営委員会】(年4回)や青少年育成委員会(年6回)に参加し、地域課題について情報交換を行うとともに、地区部会の会議や活動を通じて関係団体との連携を図った。 ・介護付有料老人ホーム「そんぼの家 蘇我」と地域が連携した取り組みについて協議した結果、これまで施設を利用し開催してきた高齢者の集いの場については、新型コロナやインフルエンザの感染状況などを鑑み、R7年度は中止し様子を見ることとなった。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
【人口・世帯数】 20,861人、11,365世帯								
【町内自治会数】 9町内自治会			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域の問題点に対しては、主に民生委員や地区部会が対応した。			
【高齢化率】 16.2%		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 地域の見守り活動を通して、災害発生時に円滑に避難ができるような地域づくりに努めたい。	・地区部会が、地区内の8町内自治会を通じて町内自治会加入の全世帯を対象に配布している「冷蔵庫保管用安心カード」については、記載内容の見直しを行い、町内自治会を通じて配布した。 また、町内自治会未加入の75歳以上のひとり暮らし高齢者については、民生委員の協力を得て、5月の「高齢者実態調査」の際に配布した。 ・地域の見守りに対する意識の向上を図るため、町会や避難所運営委員会と連携したが、実施予定だった「地域見守り活動～オレンジフェスティバル～」は中止した。 ・民生委員と協働し、12月に75歳以上のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、状況を把握した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
【地域の特徴】 ○蘇我、今井、若草、南町を対象としたエリア。 JR蘇我駅周辺の地区で、隣接地区の製鉄所跡地に大規模ショッピングセンターやサッカー場ができ、交通量の増加など環境が徐々に変わりつつある。								
活動事業名			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区内4か所の避難所すべてに「避難所運営委員会」が設立されており、各避難所運営委員会が、九都県市防災訓練の実施日に合わせ、避難所の設備・備品の点検等を行った。 訓練の際は、福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マニュアルを活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。 ・避難所運営委員会として、消防署の方を招いて講演会を実施した。 ・中央区主催の防災ミーティングを開催し、各町内自治会の実情を話合った。			
いきいきサロン			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・子どもたちの安全を守るため、「セーフティウォッチャー」や「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 ・不審者対応として、青色回転灯装着車によるパトロールも計画どおり実施するとともに、パトロール活動への支援として、青少年育成委員会が若干のガソリン代の支給やドライブレコーダーの貸与等を実施した。 地区部会が蘇我小学校から依頼を受ける、年1回の「昔あそび」のゲストティーチャーとして役員が協力しているが、日程が合わず実施できなかった。 ・蘇我小学校で全学年を対象に月1回実施している「わくわくキャンパス」に、内容に応じて参加・協力した。 ・「ローゼンそが保育園」の昔遊びのゲストティーチャーとして役員が協力した。 ・新たに青少年育成員会健全育成部会主催の「地域を学ぶ会」に協力した。(蘇我小学校)			
子育てサロン								
散歩クラブ			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。	・地区部会が、いきいきサロンを4会場で年間各4回、計16回実施した。 また、健康増進のためにポッチャを試験的に4会場で各1回実施した。 新型プロジェクターやパソコン、体操のDVDを購入し、サロンの会場で活用した。 ・グラウンドゴルフを取り入れたふれあいサロンを週2回開催した。 ・グラウンドゴルフ愛好会(ふれあいクラブ)が地区部会に加入した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
広報紙								
ボランティア講座			7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 ふれあい・散歩クラブや健康促進に関する講座等を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や健康の維持増進を図る機会を設け、介護・フレイルの予防に努めたい。	・60歳以上の高齢者を対象に、健康維持や交流の場づくりを目的として実施している「ふれあい・散歩クラブ」「ふれあい・いきいきサロン」を実施した。 ・健康促進に関する年1回の講座、高齢者の健康増進を図るために地区部会として協力した。 ・スポーツ振興会及び老人クラブで行っているスポーツ活動や蘇我いきいきセンターで月2回行われている健康体操を実施したほか、フレイル予防の講習会を、蘇我、今井、若草の三か所で実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 蘇我いきいきセンターの協力を得て、健康づくりに努める。	
ふれあい食事サービス								
敬老会			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「わくわくキャンパス」に地域の全関係者が加わり実施した。 ・「ローゼンそが保育園」の昔遊びのゲストティーチャーとして地区部会役員が協力した。 ・地区部会がスポーツ振興会と共同で、蘇我小地区町民運動会を実施した。 ・蘇我小学校区内の3地区にて、盆踊り大会を実施し、地区部会が協力した。			
見守り活動								
支え合い活動								

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 蘇我地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
蘇我地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロンを年10回実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「コミュニティまつり」で社協と民児協、蘇我いきいきセンターのPRを実施した。 ・地区部会や町内自治会のイベントでは健常者、障がい者を問わず、誰でも気軽に参加できるようPRに努めた。 ・福祉的配慮を必要とする人をケアする内容を加え改定した避難所運営マニュアルを各訓練で活用するとともに、マニュアルの修正が必要な箇所を改正した。 ・避難所運営委員会では、女性の委員を増やすとともに、障がい者や外国人にも委員としての参加を呼びかけており、一部の避難所運営委員会では障がい者や外国人が委員として参加するようになった。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・3地区の町内自治会が、盆踊り等の各種イベントを開催し、地区部会が協力した。			
	3 社会参加の推進	○	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	【重点取組項目】 施設への訪問活動等を通して、地域の高齢者が参加できる機会の創出を図りたい。	・地区部会のボランティア委員会が、月1回、「セントケアホーム蘇我」「グループホームさくら」の2施設で行っている話し相手やイベント手伝い等の活動を予定していたが、施設側の受け入れが難しく中止となったが、今後の訪問活動内容について調整中である。 ・「セントケアホーム蘇我」の利用者が、いきいきサロンに参加するようになった。	○	【重点取組項目】 前年度同様	施設側の受け入れ体制が、コロナ前に戻っていない。
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続するほか、新たにグループホーム2か所に声掛けをし、ふれあいいきいきサロンに参加してもらう。	・地区部会が、健康促進に関する講座を実施した。また、R7年度は、地区民児協と合同で認知症サポーター養成講座を開催した。 ・いきいきサロンでも、蘇我いきいきセンターの協力を得て、健康体操などのメニューを取り入れた。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域内で問い合わせがあれば、個別に民生委員や町内自治会長が対応した。 ・各町内自治会からの要望や相談については、「学校運営評議員会」や「育成委員会」を通して、情報を共有した。 ・民生委員と地区部会、あんしんケアセンターが連携し、「ふれあい公園」と「蘇我公園」を会場に、気軽に相談できる場を計2回実施した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・全町内自治会で「防災マップ(危険箇所マップ)」を作成した。 ・年1回社協だよりを発行した。 ・蘇我中学校区の小・中学生が一緒に作成した「蘇我子どもマップ(子どもの目からみた安全マップ)」の内容を更新した。			
6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。 ※オレンジフェスティバルの開催については、未定。	・「わくわくキャンパス」に地域の中関係者が加わって実施した。 ・地域の見守りに対する意識の向上を図るため、地域の関係団体と連携して実施した。 ・主任児童委員が中心となり蘇我小学校に週1回出向き、全学年対象に実施している「本の読み聞かせ」を実施した。 ・青少年育成委員会で、地区の歴史散歩を毎年場所を変えて実施し、地域の歴史を理解し、地域を好きになってもらう事業を実施した。 ・蘇我中学校1年生を対象に、「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書の勧めと感想文募集を継続実施し、全員の感想文が寄せられた。 ・地区部会が、健康促進に関する講座を実施した。 ・いきいきサロンを実施し、その中で健康体操などのメニューを取り入れた。 ・子ども会では、地域リーダーを養成するための講習会を開催し、受講者の中には成人後も子ども会行事を手伝っている人もいる。				

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 蘇我地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
蘇我地区部会エリア	7 人にやさしい生活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 防犯パトロールをはじめとした防犯活動を通して、地域住民が安心して生活できるよう努めたい。	・民生委員定例会やいきいきサロンで実施している「振り込め詐欺の対応や防止策」等についての講座を実施し防犯のPRを行った。 ・育成委員会では、青色パトロールを各町内自治会で週割し、実施した。 ・第9地区連協では、49町内自治会のうち41町内自治会が防犯パトロール隊を結成し、パトロールを実施した。 ・不定期ではあるが、移動交番が蘇我コミュニティセンターや東武ストア蘇我店で開設した。 ・蘇我中学校区の小・中学生が一緒に作成した「子どもの目からみた安全マップ」を育成委員会だよりに掲載した。 ・地域住民が「こども110番のいえ」に協力した。 ・PTAが学校の長期休暇に合わせ、防犯パトロールを兼ねて実施している地区内一斉点検に地区部会が協力した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会の自主防災会でそれぞれ活動した。 ・第9地区連で10か所の避難所で運営組織を立ち上げ、各避難所の特性を考慮したマニュアルを作成し、地域の実情に合わせた運営ができるような体制をつくっている。 ・千葉工業高校を会場として、5町会による防災訓練を開催し、訓練には生徒や教員、地域住民が参加した。 ・地域運営委員会が、防災講座を年2回開催した。 ・地区内4か所の避難所すべてに「避難所運営委員会」が設立されており、各避難所運営委員会が、九都県市防災訓練の実施日に合わせ、避難所の設備・備品の点検等を行った。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針			
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)						
白旗台地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 (1)地域運営委員会機能も有するコミュニティづくり懇談会で地域課題を解決するため、懇談会テーマおよび活動支援テーマを年初に決め実施する。 (2)コミュニティづくり懇談会や地区部会の主な会には行政やあんしんケアセンター、社協等にも参加してもらい、地域課題解決に向け連携強化を図る。	(1)地域運営委員会機能も有するコミュニティづくり懇談会では、年初の役員会で少し時間をかけて議論し、本年の地域課題を抽出し、コミュニティ懇談会のテーマと活動支援テーマを決め、ほぼ予定通りに実行することができた。 懇談会では、第1回目は9月6日に「家庭系プラスチック資源の分別収集について」と題して資源循環部神崎参与から説明を受け、千葉市が実施しようとしている家庭系プラスチック資源の分別収集の内容、スケジュールが理解できた。又スムーズな実施に向けて意見交換も実施できた。(80名参加) 2回目は11月29日に「想定最大規模の高潮における被害想定とその対策について」と題して危機管理課中野課長から説明を受けた。高潮被害についてははっきりしない点が多かったが、説明を受けてかなりよく理解できた。ただ対策としてはまだ不安な点も多く、今後要望等も考えていきたい。(81名参加) 3回目は「がんセンターの紹介と最近のがん予防について」と題して千葉県がんセンターの加藤病院長からお話を伺った。内容もよく理解でき、がんの早期発見等今後の日常生活の中でも活用していきたいと感じた。(85名参加) また活動支援テーマとして「各避難所のニーズに合わせた備蓄品の充実」支援と「青色回転灯装備車によるパトロール活動」支援とし、各々計画通り実施することができた。 また新年会を1月18日に開催し、86名の参加で交流・親睦を深めた。 (2)避難所の立上げ・避難訓練等は千葉市の統一日である8月24日を中心に7か所ある避難所全てで実施し、各避難所で講演会やAED・応急処置訓練、起震車・煙体験等も行われた。 (3)青色回転灯装備車によるパトロール活動については、登校日には毎日3台程度でパトロールすることが出来た。不審者の出没おさえこみについては、前半の悪さを後半で取り返し前年より8件減の16件となんとか目標は達成できた。 (4)避難所備蓄品の充実については、各避難所から希望を取ったが、結局エアーマットとトイレキットを購入し、7か所すべての避難所に市の配布品とは別に配布することができた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様				
【人口・世帯数】 26,223人、13,842世帯											
【町内自治会数】 41町内自治会											
【高齢化率】 24.7%											
【地域の特徴】 ○白旗、鵜の森町、今井町、大蔵寺町、花輪町、宮崎、赤井町の一部、千葉寺町の一部、大森町の一部、宮崎町の一部を対象としたエリア。 古くからの農村地帯と昭和50年代に宅地造成された地域がほぼ同じ割合で混在する区域で、一部住宅地では、高齢化率50%を超える町内自治会もある。											
活動事業名				実績に○印							
いきいきサロン				○							
子育てサロン				○							
散歩クラブ				○							
広報紙				○							
ボランティア講座				○							
ふれあい食事サービス				○							
敬老会				○							
見守り活動				○							
支え合い活動				○							

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白旗台地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 (1)あいさつ運動を継続して近所の子どもと顔見知りになる。又のぼり旗の更新を適時行う。 (2)学校とも連携し、セーフティウォッチャー活動、青色回転灯パトロール活動を継続する。 (3)「こども110番の家」訪問、挨拶、かけ込み訓練の実施について検討する。 (4)蘇我中1年生を対象にした「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書感想文事業を継続実施する。	(1)あいさつ運動やのぼり旗の交換等は、ほぼ予定どおり実施できた。また休みあけにはあいさつ運動を各地区で実施した。 (2)こども110番の家訪問・駆け込み訓練については進展しなかったが、青色回転灯装備車によるパトロールは1の(3)のとおり実施できた。また、パトロール車への若干の補助は本年も計画通り実施することができた。 (3)蘇我中1年生全員を対象にした「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書感想文事業は本年度も1年生ほぼ全員の参加(249)得られ、内容もかなり充実していた。この内容について2月発行の「青少年育成委員会だより」に載せ地域にも周知した。 (4)各小ともにセーフティウォッチャー活動は着実に実施できた。 (5)通学路の安全対策については、少しずつ改善できたが、重要な課題でまだ実現していないものもあり、要望を続けていきたい。 (6)放課後こども教室は3小とも実施できたが、一昨年の大森小に続き本年は大蔵寺小もアフタースクールに切りかわった。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
	2 交流の場と仲間づくり	○	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 (1)地区部会が主催する「ふれあい・いきいきサロン」を健康課等の支援を受けて9回/年程度実施する。 (2)各町内自治会等が主催する「ふれあい・いきいきサロン」の実施を働きかけ支援を行う。 (3)閉じこもりがちな高齢者等に民生委員等と連携し、参加を働きかける。	(1)「フレイル予防」をテーマにした地区部会主催のいきいきサロンは、計画した6会場全てで実施できた。講師は中央保健福祉センター健康課の保健師、看護師等で実施した。 (2)各町内自治会主催のものは、回数、内容も充実してきたが、参加人数についてはまだコロナ前に戻っていないものが多かった。 (3)民生委員と連携して閉じこもりがちな高齢者への働きかけは、かなりしっかりできている町内自治会が認められるようになってきた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 但し(1)・・・支援を受けて6回/年程度実施する。	
		○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 (1)ふれあい散歩クラブ活動等活発化のため、各町内自治会等に働きかけを行う。 (2)ふれあい・いきいきサロンにおいて、介護予防や転倒防止運動を定期的に実施する。 (3)フレイル予防や健康等をテーマとした研修会等を開催する。 (4)スポーツ振興会が主催するスポーツ大会や歴史散歩等の文化活動に、より多くの人が参加するように働きかける。	(1)ふれあい散歩クラブ活動は、比較的多くの町内自治会で実施できた。(補助対象分だけで、12月まで116回) (2)いきいきサロンでの健康体操についても、継続実施ができた。 (3)スポーツ振興会主催のものでは、市民体育祭は雨で中止の大蔵寺小地区(代替ボッチャ大会実施)を除き実施できた。更に各小地区とも3～5回/年程度各種スポーツ大会を実施した。 (4)地区部会主催で「がんの予防・早期発見のために知っておきたいこと」(講師:千葉県がんセンター病院長加藤厚氏)と題して研修会を開催した。(31名参加) (5)ふれあい食事サービス事業を継続実施した。(月2回)	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
		○	8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	【重点取組項目】 (1)スポーツ振興会主催のスポーツ大会等を支援し、活発化を図る。 (2)歴史散歩等の文化事業を支援し活発化を図る。 (3)高齢者から子どもまで参加して楽しめる「ふれあいひろば」を1回/年開催する。	(1)スポーツ振興会主催のスポーツ大会は、3小学校地区とも市民体育祭をはじめ、ボッチャ大会、グラウンドゴルフ大会、バトミントン大会等工夫をこらして実施できた。 (2)蘇我中地区の伝統行事にもなっていた「蘇我の歴史散歩」は本年も実施できなかったが、「ジャンボかるた大会 & 割り箸鉄砲射的大会」を実施した。 (3)「ふれあいひろば」も実施できたが、雨天の為南部青少年センター内の実施となった。	○	【重点取組項目】 前年度同様	
		○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 (1)地区部会が主催する子育てサロンを2回/月以上開催する。 (2)この中で研修会等も開催し内容の充実を図る。 (3)広報誌等を活用してPR活動を行い参加者の増を図る。	(1)子育てサロンはこれまで通り宮崎公民館で2回/月、南町共栄会館で2回/月開催できた。又花輪町自治会館で2回/年開催した。参加者はいずれも少しずつ増えてきている。(コロナ前の状況にはまだ届かないが) (2)赤ちゃんのための防災教室(講師:防災・避難所運営のための会 出納いずみ氏)を開催し、0～3歳児と保護者・部会役員21名が参加した。 (3)子育てサロンの案内を部会だよりの載せ、年間予定表を配布して参加しやすくした。さらに一部では、案内をポスティングして周知を図った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)障がい者対応としては、避難所訓練や地区部会「ふれあいひろば」等の地域行事への参加を予定していたが、明確な障がい者の参加はごく少数であった。 なお、「ふれあいひろば」には障害者施設の「森のパンやさん」にも出店してもらったが、南部青少年センター内での開催となった為、少しにぎわいをかいたものになった。 (2)避難所の運営委員については女性委員の比率が高まり、また障がい者や外国人が委員になって交流を深められるような避難所が増えてきた。 (3)地区部会では障がい者福祉委員会のボランティア講座として「障害者福祉について」(講師:社会福祉法人みらい工房理事長 平井晋也氏)と題して32名が参加して講演会を開催した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白旗台地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり		11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)子育てサロンをほぼ計画通りに開催し、高齢者スタッフ等を含め幅広い世代間交流はできたが、いきいきサロン等との交流は進展しなかった。 (2)地域での世代間交流の場である盆踊りや社協まつりについては、ほぼ計画通りに実施できたが、世代間交流については一部にとどまった感がある。 (3)子どもたちや子育て世代が中心となって敬老会を実施し、世代間交流を図る地区もできた。(子ども達と子育て世代、高齢者と幅広く交流でき、みなが顔見知りになり話ができる関係を築けた。)			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)地区部会をはじめ地域の各種団体の福祉課題の取組において、高齢者の活動は確実に増加し、またその比率も高まってきた。又活動する高齢者の年齢がまた1つ上がった感があり、後期高齢者の比率も高まってきた。元気な後期高齢者が増えてきて活動を続けている成果と言えるかもしれない。 (2)老人クラブやサークルの福祉施設慰問は、活動団体が十分に復帰しておらず、また福祉施設側の感染症等への心配もありほとんど実施できなかった。 (3)身近な見守り活動や地域支え合い活動においても、支援者の中の高齢者の比率は、確実に高まってきたと言うより、大半が高齢者と言える状況になってきた。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)ふれあいひろばや避難訓練に障がい者の参加があったが、あまり多くなかった。それでも避難所運営委員に障がい者がなるケースもあり、障がい者からの意見で避難所トイレのルールを見直しする動きもできつつある。 (2)障がい者の避難に不安を持つ方も多く、問い合わせや話し合いの場を持つケースも認められた。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 (1)地区部会が主催する研修会、講演会を各委員会担当のものを含め5回/年程度実施する。 (2)コミュニティづくり懇談会では2～3回/年、コミュニティ懇談会を開催する。 (3)こうした研修会、講演会、懇談会には地域住民にもできるだけ参加を呼びかける。 (4)地区部会主催のふれあいひろばを1回/年開催し、地域住民や小中学生に来場を呼び掛けるとともに、小中学生がスタッフとして参画することを検討する。	(1)地区部会主催の研修会を6回(7/21、9/21、10/20、10/28、11/12、11/23)実施できた。 (2)コミュニティづくり懇談会では1.(1)の通り実施し、意見交換会等も活発に行われた。また、懇談会の内容を「コミ懇だより」に掲載し各家庭に回覧した。 (3)各町内自治会等でも、出前講座等で福祉に関係する研修会等は実施できたが、まだごく一部に限られていた。 (4)地区部会主催のふれあいひろばでは子どもたちも多く参加し、かなりのにぎわいを見せたが、雨天で屋内開催としたため、高齢者の参加が少し減少し(2階に上がるのはつらいとの声も)、又滞留時間も少し短くなってしまった。	○	【重点取組項目】 前年度同様	
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	【重点取組項目】 (1)地区部会や町内自治会等が開催する諸事案では、スタッフが相談に応じ、必要に応じて専門機関につなぐ等を行う。 (2)民生委員と町内自治会役員は連携を強めて、気軽に相談できる環境づくりを行う。 (3)「中央区ふくし防災ガイド&マップ」の内容の充実と更新を働きかける。	(1)地域住民等から寄せられる相談は、地区部会役員や町内自治会役員・民生委員等が個別または共同で対応してきたが、相談件数、情報提供件数は増加傾向が続いている。 (2)相談や情報提供を受けたもののうち、行政やあんしんケアセンター、社協等へつないだ件数も多くなってきた。また民生委員と町内自治会役員との連携も各所で強まってきた。 (3)「中央区ふくし防災ガイド&マップ」については、更新の時期が来ているので実施に向けて働きかけを行ったが、ゼンリンの都合もあって延期された。	○	【重点取組項目】 前年度同様	
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)部会だよりを年1回発行し41町内自治会全世帯に配布した。 (2)「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」については、15(3)の通り。次年度は実施できるよう働きかけを強める。 (3)地区部会の地域支え合い活動事業・「きずな隊」の活動については、部会だよりでPRするとともに、町内自治会長が交替した町内自治会にも周知を再度図った(全町内自治会長等がメンバーの理事会・研修会で再徹底した)。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(1)地区部会の6つの委員会でボランティア講座を各1回開催した。14(1)の通り (2)蘇我中学校1年生を対象に「子どもによる子どものための子どもの権利条約」の読書の勧めと感想文募集を継続実施し、ほぼ全員から感想文が寄せられている。更にその内容を育成委員会だよりに掲載し全戸に回覧した。 (3)青少年育成委員会で地区の歴史散歩を、毎年場所を変えて実施し、地域の歴史を理解し地域を好きになってもらう事業を実施してきた。令和7年度については前年に続き「房総かるた」大会等を行った。 (4)すべての子どもを地域で育てる事業では、のぼり旗の交換等も行い、休みあけには地区部会員が通学路などに立ってあいさつ運動を展開した。 (5)放課後子ども教室については大森小については大森寺小もアフタースクール化されたが、宮崎小含め3校で実施できた。		【重点取り組み項目】 前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 白旗台地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
白旗台地区部会エリア	7 人にやさしい生活環境づくり	○	18 防犯対策の推進	【重点取組項目】 (1)各町内自治会の防犯/パトロール隊については活発に活動してきたが、最近中止した所もあり実態を再調査し活性化を図る。 (2) 青色回転灯装着車によるパトロール活動を継続し、不審者出没を抑え込む。 (3)こども110番の家活動について地域や子どもたちに周知し、訪問、挨拶、かけ込み訓練の実施について検討する。 (4)講演会、研修会を開催する。	(1)各町内自治会による防犯パトロールについては、ほぼ例年通り実施できた。但し、各パトロール隊ともメンバーの高齢化、人数減の問題をかかえている。 (2)青色回転灯装備車によるパトロール活動については、前年度までと同様登校日には毎日3台ベースで実施できた。不審者の出没の抑え込みについては、年の後半に大部改善し、前年度比2/3の16件と目標値はなんとか達成できた。ただし一部の地区では隊員不足におちいり、テコ入れも必要になった。 (3)こども110番の家活動については、こども110番の家の確保やステッカー掲示等は行えたものの、かけ込み訓練の実施検討については手をつけられなかった。 (4)講演会・研修会の開催については各町内自治会等で行ったが、あまり多くなかった。刑法犯認知件数が増加傾向を示しており、もう少し回数等を増やして関心を高める必要もあった。 (5)防犯カメラの設置(市補助・町内自治会一部負担)が少しずつ進化した。	○	【重点取組項目】 前年度同様、但し (3)子ども達に周知する。 (5)防犯カメラの設置を各町内自治会に働きかける。	
			19 防災体制の充実	【重点取組項目】 (1)地域の全避難所で避難訓練を実施する。 (2)防災会未設置の町内自治会に、設置の働きかけを行い防災訓練も実施する。 (3)避難所の備蓄品の充実を図る。 (4)防災に関する研修会、講演会を開催する。	(1)避難所の立上げ等の訓練は、8/24の市の訓練日を中心に一般市民の避難訓練を含めて実施できた。更に多くの避難所ではAED、応急救置訓練、消火訓練、地震等の体験、講演会等を避難所ごとに選定して実施した。 (2)マニュアルの見直しについては、避難所ごとに必要に応じた見直し等を行った。 (3)地域7か所の避難所全てにエアーマット10セット、トイレキットを市の支給品とは別にコミコンで配布し備蓄品の充実を図った。 (4)地区部会では、児童母子福祉委員会のボランティア講座として「赤ちゃんのための防災教室」とボランティア委員会ではボランティア講座として「ローリングストックと防災食の提案」を開催し、参考になる多くの話を聞き理解を深めた。又各町内自治会や防災会で独自の講演会、地震体験等の訓練を実施したところが増加した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 生浜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
生浜地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 「生浜地区地域運営委員会」の4部会、「青少年部会」、「高齢者・要支援者部会」、「防災部会」、「スポーツ部会」が連携を図りつつ、活動を実施していきたい。	・「生浜地区地域運営委員会」の4つの部会(「青少年部会」「高齢者・要支援者部会」「防災部会」「スポーツ部会」)が、それぞれ活動を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 ※R8年度より部会は3つになる	
【人口・世帯数】 25,091人、12,764世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	【重点取組項目】 地域住民の生活課題の解決を図れるよう、ゴミ出し支援に取り組んでいく。	・2町会の協力を得て、ゴミ出し支援を実施した。	◎	【重点取組項目】 地区部会が、ゴミ出し支援の拡大を図っていく。	
【町内自治会数】 12町内自治会			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるよう地域づくりに努めるとともに、活動を町内自治会に広げていきたい。	・民生委員が中心となり、見守り活動を実施した。 ・一部の町内自治会では、見守り活動を実施した。	◎	【重点取組項目】 見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるよう地域づくりに努めるとともに、活動を他の町内自治会にも広げていきたい。	
【高齢化率】 24.5%		○	4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	【重点取組項目】 特に支援を必要とする地域住民が災害発生時においても円滑な避難ができるよう、防災部会で協議を行っていきたい。	・九都県市合同防災訓練に伴う避難所開設訓練を実施した。(8月) ・防災講座「想定最大規模の高潮における避難方針」の開催をした。(12月) ・生浜地区合同防災訓練を実施した。(3月)	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
【地域の特徴】 ○村田町、浜野町、塩田町、生実町、南生実町を対象としたエリア。 千葉市街地の中心よりやや外れ、南は市原市に接し、西には京葉工業地域を有している。古墳や神社仏閣も多く、古からの歴史と伝統が引き継がれている地域でもある。			5 すべての子どもを地域で育てる	【重点取組項目】 生浜地区の防犯パトロールやセーフティウォッチャーによる登下校時の児童の見守りを通して、子どもたちが地域の中で安全に過ごせるよう環境づくりに努めたい。	・青少年部会や町内自治会では、防犯パトロールを実施した。 ・学校が主体となって実施しているセーフティウォッチャーに地域住民が協力し、登下校時の児童の見守りに取り組んだ。 ・地域運営委員会が、食糧支援の必要性や食事の重要性(食育)について考えるイベント「はまフェス2025」を生浜東小学校で開催し、多くの子どもたちが参加した。 ・「ごちゃまぜ食堂」を生実町で実施した。(12月)	◎	【重点取組項目】 前年度同様	セーフティウォッチャーの担い手不足と後継者育成が急務
活動事業名			6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、高齢者が身近なところで集い、交流する場所の機会の充実を図り、閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイル予防に努めたい。	・地区部会が「いきいきサロン」を5か所、計45回、「ふれあい喫茶」を1か所でそれぞれ実施した。 ・老人クラブでは、グラウンドゴルフや輪投げ、ダーツ等の行事を開催した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 ※いきいきサロン1ヶ所新規設立予定	活動継続のためのスタッフ育成が課題
いきいきサロン		○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 いきいき健康体操教室の実施を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、健康の維持増進を図る機会を設け、介護やフレイルの予防に努めたい。	・地区部会が「いきいき健康体操教室」を5か所、計144回実施した。 ・一部の町内自治会では、高齢者向けの太極拳体操やラジオ体操を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 ※いきいき健康体操教室1ヶ所新規設立予定	
子育てサロン			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	【重点取組項目】 「生浜地区体育祭」や育成委員会の「子どもふれあい祭り」の実施を通して、世代を超えたスポーツ活動・文化活動による交流の場を設け、子どもたちの健全育成を図りたい。	・スポーツ部会が11月に「生浜地区体育祭」を開催した。 ・育成委員会が11月に「子どもふれあい祭り」を開催し、その中で地区部会やPTAなどが体験コーナーのブースを設けた。 ・スポーツ振興会が、ポッチャ大会やバレーボール大会などのイベントを開催した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
散歩クラブ			9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 「子育てサロン」の実施等を通して、子育て中の親子の仲間づくりの場と機会を拡充できるよう努めたい。	・地区部会が「子育てサロン」を3か所、計30回実施した。 ・地区部会が幼稚園、保育所、保育園との情報交換会を実施した。 ・地区部会が、一部の保育所との交流会を実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
広報紙	2 交流の場と仲間づくり	○	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	【重点取組項目】 障害者福祉施設での支援活動や障がいに関する学習の機会の場の提供を通して、地域住民の障がい者に対する意識の高揚を図れるよう努めたい。	・地区部会の障害者委員会が中心となり、障害者福祉施設「こころふる浜野」での支援活動を行った。 ・地区部会が生浜中学校1年生を対象に、車いす体験を行い、障がいについて学習する機会を設けた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
ボランティア講座			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定: 前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が、体育祭や盆踊り、お祭りなどの各種地域イベントを実施した。			
ふれあい食事サービス		○						
敬老会								
見守り活動								
支え合い活動								

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 生浜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
生浜地区部会エリア	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、地域内の福祉施設でのボランティア活動を実施した。 ・地区部会や町内自治会など、地域団体の役員になっている高齢者は、地域行事でスタッフとして活動した。 ・学校が主体となって実施している「セーフティウォッチャー」に地域の高齢者が協力し、登下校時の児童の見守りに取り組んだ。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会が実施している地域行事(盆踊り)に、障がい者福祉施設の利用者が参加した。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・生浜中学校1年生を対象に、車いす体験を行い、障がいについて学習する機会を設けた。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が運営している「ふれあい・いきいきサロン」や「子育てサロン」の中で、スタッフが個別に相談に応じた。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地域福祉に関する情報を住民に提供する「地区部会だより」を年3回発行した。カラー印刷にし、紙面の充実を図った。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・各町内自治会で実施している「敬老のつどい」に中学生がボランティアとして参加し、中学生との「福祉のこころ」を育む機会となった。 ・生浜中学校1年生を対象に、車いす体験を行い、障がいについて学習する機会を設けた。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・防犯パトロールを組織化している町内自治会では、定期的にパトロールを実施した。 ・青少年部会では防犯パトロールを実施した。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・九都県市合同防災訓練に伴う避難所開設訓練を実施した。(8月) ・防災講座「想定最大規模の高潮における避難方針」の開催をした。(12月) ・生浜地区合同防災訓練を実施した。(3月)			

32

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松波地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進		1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民児協、町会長やスポーツ振興会などのメンバーが地区部会の役員となっており、横の連携がとれている。 ・地域の大きな行事の際は、松波町会、第114地区民児協、商工振興会、子ども会、シニアクラブを含め、地域の関係団体が集まって打ち合わせを行った。		前年度同様	
			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・松波会館が地域の拠点となっており、10:00～15:00に事務ボランティアが常駐し対応した。 ・町会有志で「お助けマンクラブ」として草取り、剪定、ゴミだし作業のサービスをした。		前年度同様	
【人口・世帯数】 5,014人、2,976世帯			3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・「松波見守り隊」を発足し活動しているが、今後見直しを行い、実情にあった活動を検討中である。 ・オープンチャット「松波の何でも掲示板」で、困り事、悩み事が言える場を開設している。		前年度同様	
【町内自治会数】 1 町内自治会			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町会の防犯防災部が中心となり年末の夜警を実施した。 ・毎年、松波自主防災会が主催で「防災訓練」を実施し、地区部会、消防団、民生委員・児童委員が協力して訓練を実施している。 ・千葉商業高校の避難所運営委員会が行う避難所開設訓練に、地区部会として協力している。 ・松波自主防災会がオープンチャット「千葉市松波防災ネット」を立ち上げ地域の防犯防災情報を地域住民が積極的に発信している。		前年度同様	
【高齢化率】 22.3%			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・毎年、町会主催「もちつき大会」や弥生小スポーツ振興会主催「弥生小学校地区体育祭」に地区部会が協力事業として活動している。 ・民生委員や地区部会役員が中心となり、登校時に2か所で声かけを実施した。（弥生小セーフティウォッチャー）。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 ・地区部会と第114地区民児協、松波町会が連携して、多世代交流の輪が広がる「地域食堂 松波のちゃぶ台」を月2回実施した。実施にあたっては、千葉経済学園と近隣高校の学生・生徒も一緒に活動した。		前年度同様 ※松波のちゃぶ台はR8年度より月1回実施	
【地域の特徴】 ○松波を対象としたエリア。 JR西千葉駅の東側に位置し、戸建て住宅がメインとなっている。 エリア内に高校（千葉商業高校）があるほか、隣接するエリアに複数の大学もある文教地区となっている。								
活動事業名		実績に○印						
いきいきサロン		○						
子育てサロン		○						
散歩クラブ		○						
広報紙	○							
ボランティア講座	○							
ふれあい食事サービス	－							
敬老会	○							
見守り活動	○							
支え合い活動	○							
	2 交流の場と仲間づくり		6 ふれあい・いきいきサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	いきいきサロンは、グラウンドゴルフ（雨天及び学校の長期休暇期間は休み）を松波公園で週2回開催するとともに、松波会館で脳トレ会、ウクレレ会を月2回、卓球会を週1回開催し、高齢者の集える場を設け、仲間づくりや健康維持を図っている。		前年度同様	
			7 地域での健康づくり支援の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が「散歩クラブ」を月1回実施している。地区部会役員の中に看護師が3名いるため、開催時には血圧測定を行い、健康と安全管理に注意した。 ・弥生小スポーツ振興会がグラウンド・ゴルフを定期的に開催した。 ・地区部会が主催となり、多世代間交流の場「ドッキングプレイス」の中で、ポッチャと輪投げを実施し、30名程度の方が参加した。		前年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地域で開催している「夏祭り」で地区部会として模擬店を出店し、多くの子どもと触れ合った。 ・毎年、町会主催「もちつき大会」や弥生小スポーツ振興会主催「弥生小学校区体育祭」に地区部会が協力事業として活動している。 ・地区部会が主催となり、多世代間交流の場「ドッキングプレイス」の中で、ポッチャと輪投げを実施し、30名程度の方が参加した。		前年度同様	
			9 子育てサロンの充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	地区部会が、子育て中の親子を対象に、月2回、工作、季節のイベントや、中央区健康課の保健師、栄養士、歯科衛生士による指導、スタッフ（助産師）による育児相談等を内容とした子育てサロンを実施し、子育て親子の仲間づくりに取り組んだ。		前年度同様	
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・年末に、80歳以上の独居高齢者を対象としたプレゼント用に、オリーブハウスでクッキー（120個）を購入し、販売促進に協力した。		前年度同様	
		○	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 地域食堂「松波のちゃぶ台」や「ドッキングプレイス」の実施などを通して、地域住民が世代の枠を超えて交流できる機会の創出を図りたい。	・地区部会が主催となり、多世代間交流の場「ドッキングプレイス」の中で、ポッチャと輪投げを実施し、30名程度の方が参加した。 ・地区部会と第114地区民児協、松波町会が連携して、多世代交流の輪が広がる「地域食堂 松波のちゃぶ台」を月2回実施している。実施にあたっては、千葉経済大学や千葉経済大学附属高校の学生・生徒も一緒に活動している。	○	【重点取組項目】 前年度同様	
			3 社会参加の推進	12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・ふれあい事業や敬老会、夏祭り、防災訓練など、高齢者が深くかわり活動する機会を提供している。		前年度同様
		13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進		予定：前年度同様の取組みを継続する。	・年末に、80歳以上の独居高齢者を対象としたプレゼント用に、オリーブハウスでクッキー（120個）を購入し、販売促進に協力している。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 松波地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松波地区部会エリア	4 地域の福祉力 向上、担い手づく り		14 地域福祉活動に参加する機 会の提供や地域福祉に関す る講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が主催となり、歩こう会、脳トレ会のメンバーで歩行測定会と骨密度測定会、血 管年齢測定を実施した。		前年度同様	
	5 相談体制、情 報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・松波会館が地域の拠点となっており、10:00～15:00に事務ボランティアが常駐しているた め、内容により対応可能である。 ・相談があれば、地区部会もしくは町会を通して、可能であれば対応した。 ・民生委員・児童委員も個別で相談に対応した。 ・ホームページにより、地域情報を発信した。		前年度同様	
			16 福祉情報紙の充実と「中央 区ふくし・防災ガイド&マッ プ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	地区部会が、地域住民を対象に、地区部会活動の紹介と啓発、会員の募集状況等の報 告、毎月の地区部会事業の日程の周知やボランティア募集を図るため、社協だよりを、年 4回発行した。また、毎月の予定を町内掲示板を使い周知した。 ・千葉市松波町会のホームページのリンクより、「社協松波地区部会」、「お助けマンクラブ」 ほか諸団体のページに飛ぶことが出来るようにしており、地域情報発信の充実を図った。		前年度同様	
	6 福祉教育の推 進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	敬老会に、千葉商業高校の吹奏楽部が参加し、福祉の心を育む機会を設けた。 町会の夏祭りには、子どもたち(クラーク国際高校の生徒)が山車を一緒にひき、地域住 民との交流を図ることができた。		前年度同様	
	7 人にやさしい生 活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・有志が月2回、夜間パトロールを行った。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。 ・民生委員や地区部会役員が中心となり毎朝、登校時に2か所で声かけを実施した。(弥 生小セーフティウォッチャー)。 ・町会の防犯防災部が中心となり、年末の夜警を実施した。		前年度同様	
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)		前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 松ヶ丘地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松ヶ丘地区部会エリア	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・「松ヶ丘中学校地区地域運営委員会」が設立され、現在、地域の47団体が参加している。 本委員会に4つの部会(円卓会議、地域問題検討部会、広報部会、ふるさとまつり部会。なお、ひだまり運営部会は平成28年度から独立した。)を設け、ホームページによる地域行事等の情報発信、ふるさとまつりの開催や敬老祝賀会など、諸事業に取り組むとともに、円卓会議を月1回開催し、構成団体が、地区の課題や情報を共有した。 特に重要な地域課題については、地域問題検討部会(年4回)において、地区の将来像や地域の実情に合った活動について話し合い、継続的、計画的な住民同士の「助けあい・支えあい」による地域運営に取り組んだ。 地域の各団体の関係が密になり、地域の様々なイベントにおいて協力体制が整ってきており、効果が表れている。 ・地区部会の会議や活動を通じて関係団体との連携を図った。			
【人口・世帯数】 11,728人、6,307世帯			2 支え合い活動の仕組みづくり	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が、高齢者等を対象に、雑草取り、刈り込み、立木の一部伐採作業等をお手伝いし、ひとり暮らし高齢者等の生活の一部を支援した。 ・地区部会スタッフを中心とした「ひだまり運営委員会」が、住民が気軽に立ち寄れる地域の交流の場を運営した。 ・地区部会が、ふれあい食事サービスを年3回実施した。(1回あたり210食) ・地域住民が気軽に集まり、誰もが参加できる集い・交流の場を設けた。			
【町内自治会数】 36町内自治会			3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 ひとり暮らし高齢者等に対する見守りを通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。	・地区部会が、ひとり暮らし高齢者や障がいのある方などのうち、見守りを希望する方(手上げ方式)及び見守りが必要と思われる方に対し、目配りや電話による安否確認を実施し、継続した見守りに取り組んだ。 また、町内自治会や協力員に対し研修会を実施し、見守り活動に対する理解を深めることができた。 地区部会定例理事会を開催し、毎月活動報告を行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
【高齢化率】 27.7%			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区内の避難所4か所すべてに「避難所運営委員会」が設置されており、避難所運営委員会ごとに訓練を実施した。 ・松ヶ丘地区独自の「自主防災・防犯の会」が、地区全体の防災研修会や防災訓練を年2回以上実施した。 ・各町内自治会に自主防災会が組織されており、自主防災会ごとに年2回以上の訓練を実施した。			
【地域の特徴】 ○松ヶ丘町の一部、仁戸名町の一部、星久喜町の一部、大森町の一部、宮崎町の一部を対象としたエリア。 戦後、京葉臨海工業地帯造成発展に伴い、全国から人が流入し人口が急増。以前は川鉄及びその関連会社に勤める住民が中心であったが、近年はその傾向は減少。平成4年度、千葉急行(現京成電鉄)の大森台駅の開業によりJR千葉駅や東京方面への交通の便が改善され、地区の活性化に役立っている。			5 すべての子どもを地域で育てる	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・セーフティウォッチャーは、毎日の下校時、町内自治会長を中心とした各町会(各町会5人程度)が協力した。 ・地域の有志が、登校日の朝、あいさつ運動を実施した。 ・地区部会のネットワーク委員会が、月・水・金曜日の下校時、青色パトロール車1台で、地区内(主に裏通り)を巡回し、声かけを主体にパトロールした。また、自主防災・防犯の会も青色パトロール車でパトロールを行っており、地区全体で10台の車両でパトロールを実施した。 ・松ヶ丘小学校、仁戸名小学校の要請により、「こども110番のいえ」に地域の方(約180件)が協力した。 ・PTA、地域と小学校が連携し、5年生が里山事業(田植え～稲刈り、竹の子掘り等)を実施した。 ・育成委員会と各種団体が連携し、「子どもの広場(年2回)」や「子ども夏まつり」、「新春マラソン大会」を実施し、また、松ヶ丘小・仁戸名小・松ヶ丘中・淑徳大学で昔あそびを教えた。 ・育成委員会か中心となり、「子ども食堂」を月1回実施した。 ・地区部会と淑徳大学看護栄養学部との連携により、活動拠点「ひだまり」で『どこでもこどもカフェ』を開設し、放課後の児童の健全育成や居場所の提供を図った。			
活動事業名 いいききサロン 子育てサロン 散歩クラブ 広報紙 ボランティア講座 ふれあい食事サービス 敬老会 見守り活動 支え合い活動			6 ふれあい・いいききサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する	・ひだまり運営委員会が地域交流の拠点として「ひだまり」を運営し、月～土曜日、役員が当番制で常駐した。誰もがいつでも立ち寄り、地域住民の交流の場となっている。 ・いいききサロン(高齢者福祉委員会)を年6回、3会場で開催した。また、活動拠点「ひだまり」にて『ゆうあいひろば』を月1回開催した。年々参加者が増加している。 ・地区部会が活動拠点「ひだまり」で、『カラオケサロン(毎月第2・第4火曜日)』を開催し、地域住民の交流の機会を提供した。 ・地区部会がひだまりで毎月1回、昭和熟女の会(サロン)を開催し、交流を図った。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 松ヶ丘地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松ヶ丘地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 「ふれあい散歩クラブ」や「シニアリーダー体操」の実施などを通して、地域高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり及び健康の維持増進を図る機会を設け、介護・フレイルの予防に努めたい。 ポッチャを月1回実施する。	地区部会が「いきいきサロン」や高齢者向けの集いの場「ゆうあいひろば」のメニューとして淑徳大学看護栄養学部との協力を得て、介護予防やひきこもり防止の講話(相談含む)を実施した。 また、「ふれあい散歩クラブ(高齢者福祉委員会)」を月2回開催した。 さらに、地区部会が千葉市のシニアリーダー養成講座修了者と協力し、週1回、松ヶ丘公民館、恵光園、仁戸名町内自治会館、第3公園、星久喜公民館でシニアリーダー体操を実施し、高齢者の健康維持・増進を図った。 あんしんケアセンターでは、さくら会館で健康体操を実施した。 各町内自治会では、有志によるグラウンドゴルフは盛んに行われ、大会を年3回開催している他、スポーツ振興会が年2回、大会を開催した。 「淑徳大学看護栄養学部」と「ひだまり運営委員会」が連携し、「淑徳オレンジカフェ」を月1回開催した。 グラウンドゴルフ同好会を作り、年15回(メンバー20人)中田グラウンドゴルフ場で開催した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・PTA、地域と仁戸名小学校が連携し、5年生が里山事業(田植え～稲刈り、竹の子掘り等)を実施した。 ・育成委員会と各種団体が連携し、「子どもの広場(年2回)」や「子ども夏まつり」、「新春マラソン大会」を実施した。また、松ヶ丘小・仁戸名小・松ヶ丘中・淑徳大学で昔あそびを教えた。			
			9 子育てサロンの充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・子育てサロン(児童母子福祉委員会)を年5回実施した。			
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が町内自治会関係者等を対象に、車椅子講習会を実施した。			
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会スタッフを中心とした「ひだまり運営委員会」が、月曜日から土曜日の間、役員が当番制で開設し、誰もがいつでも立ち寄れる地域住民の交流の場を提供した。高齢者の交流を中心に、小、中学生の自習や友人との交流の場として利用されている。地域の各種団体の会議やイベント、親睦の場としても使用されており、他地区からの見学も増えた。 ・地区部会が毎週金曜日の17:00～20:00に「ひだまり」で「大人の時間」を実施し、地域住民の交流の場を提供した。地域のことについて意見交換を行い、意思疎通を図った。 ・地域運営委員会が「ふるさとまつり」を実施し、誰でも参加できるイベントで交流を図った。			
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が主体となり、地域の高齢者が「お助け隊」のボランティアとして活動を行った。また、地域行事には、高齢者がボランティアとして参加した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定:前年度同様の取組みを継続する	・年2回、ボランティア委員会で講座を実施した。 ・地区部会が淑徳大学看護栄養学部と連携し、「ひだまり」で月2回(第1・第3月曜日)、健康や栄養相談を実施した。 ・地区部会と淑徳大学看護栄養学部の連携で、月1回開催している「淑徳オレンジカフェ」では、認知症に関する理解の普及に努めた。 ・地区部会があんしんケアセンターと協力して、認知症サポーター養成講座を松ヶ丘公民館で実施した。			
	5 相談体制、情報提供の場づくり	○	15 相談体制・情報提供の充実	【重点取組項目】 「ひだまり」における相談できる環境づくりや地域の情報発信などを通して、福祉に関して気軽に相談に乗るとともに地域住民がより適切に情報入手する機会を設け、地域での孤立化の防止を図れるよう努めたい。	・松ヶ丘中学校区地域運営委員会が毎月開催している「円卓会議」で各団体のイベントや活動の情報収集及びPRに努め、運用するホームページにより、地域のイベントや出来事を掲載するとともに、「ひだまり」にサークル紹介や各団体のチラシを掲載、配布して情報発信に努めた。 ・地区部会が広報誌を年3回発行し、全戸配布した。 ・「ひだまり」に地区部会役員が当番制で常駐し、問い合わせに対応し、その場で回答できないものは関係団体から回答する体制を整え、誰でも気軽に出入りでき、多世代の方が相談できる環境づくりに取り組んだ。 ・地区部会役員が毎週金曜日の17:00～20:00に「ひだまり」で「大人の時間」を実施し、地域住民の交流の場を提供している中で、悩みなどの相談に応じた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 松ヶ丘地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
松ヶ丘地区部会エリア	5 相談体制、情報提供の場づくり		16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会が年3回社協だよりを発行し、地域の協力者を通じて全戸配布した。 ・「ひだまり」にも、市の便利帳や各種情報を掲載している冊子を置いた。 ・松ヶ丘中学校地区地域運営委員会が運用するホームページにより地域のイベントや出来事を掲載し、情報発信に努めた。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・育成委員会がジュニアボランティア隊を結成し、各イベントの手伝いを行った。 ・地区部会が、淑徳大学看護栄養学部 of 学生と高齢者との意見交換会を実施した。 ・地区部会が、淑徳大学看護栄養学部 of 学生に、看護実習などの際、高齢者とのコミュニケーション手段として役立ててもらうため、年1～2回、昔遊び等を教えた。 ・松ヶ丘小学校が「まち探検」を行っており、地域の方が質問に答える等、協力した。 ・年2回、ボランティア委員会で講座を実施した。 ・淑徳大学看護栄養学部と連携し、「ひだまり」で月2回、健康や栄養相談を実施した。 ・月1回開催している「淑徳オレンジカフェ」では、認知症に関する理解の普及に努めた。 ・あんしんケアセンターと協力して、認知症サポーター養成講座を松ヶ丘公民館で実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定:前年度同様の取組みを継続する。	・自主防災会が、青色パトロール車(10台)で毎週土曜日に巡回活動を行った。 ・地区部会のネットワーク委員会が月・水・金曜日の下校時、青色パトロール車1台で、地区内(主に裏通り)を巡回し、声かけを主体にパトロールした。 ・育成委員会が「こども110番のいえ」にも地域の方(約180件)に協力いただいた。			
			19 防災体制の充実	予定:前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 川戸地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
川戸地区部会エリア 【人口・世帯数】 7,412人、3,730世帯 【町内自治会数】 13町内自治会 【高齢化率】 31.8% 【地域の特徴】 ○川戸町、仁戸名町の一部、赤井町の一部、平山町(緑区)の一部を対象としたエリア。 千葉市の中央台地に位置し、大網街道を境に東側は旧川戸の地域で、西側は高層住宅の立ち並ぶ地域である。周辺には、千葉南高校、千葉県がんセンター、千葉東病院などの公的機関が存在するが、千葉市の公的機関が少なく、川戸公民館が唯一のコミュニティの場である。また、高齢化率については、30%を超え高くなっている地域である。	1 身近なコミュニティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協議体等の設置・推進	【重点取組項目】 川戸地区の各種団体の強みを活かし、地域課題の解決に向けて連携を図りながら、各種事業の実施に努めたい。	例年、地区部会が主催する行事や活動は、今年度においてもコミュニティ懇談会、第21地区連絡協議会、民生委員・児童委員協議会、スポーツ振興会、PTA、子ども会など、各種地域の関係団体の協力を得て実施した。 ・地区部会で高齢者等のちょっとした困りごとの手伝いをする「お助け隊」は、ボランティアの高齢化により令和6年度末で事業を廃止した。 ・地区部会で地域の高齢者や障がいのある方を対象とした見守り隊活動を実施した。 ・地区部会でふれあい食事サービスを川戸公民館で11月に実施した。 ・地区部会主催の敬老会は、会場を借用している淑徳大学の改装工事のため中止した。 ・公民館運営委員会と老人クラブの福祉バザーを川戸公民館で10月に開催した。 ・コミ懇主催の川戸地区夏まつり(8月)に協力した。	○	【重点取組項目】 前年度同様の取り組みを実施するとともに、敬老会を9月16日に開催する予定。	
			2 支え合い活動の仕組みづくり	地区部会が高齢者や障がいのある方を対象に、日常生活のちょっとした困りごと等の手伝いをする「お助け隊」は、ボランティアの高齢化により令和6年度末で廃止した。	・地区部会が高齢者や障がいのある方を対象に、簡易な草取り、話し相手等、日常的のちょっとした困りごと等の手伝いをする「お助け隊」は、ボランティアの高齢化に伴い令和6年度末で廃止した。			活動者の高齢化と資機材の老朽化など活動継続が困難であるが、検討していきたい。
		○	3 見守り体制をつくる	【重点取組項目】 公的機関やあんしんケアセンターと連携した見守り活動を通して、災害発生時においても円滑な避難ができるような地域づくりに努めたい。 見守り報告会については、9月、3月の実施を予定している。	地区部会が、高齢者や障がいのある方など支援が必要な方を対象に、日常的な目配りや声掛けによる安否確認等を行い、安心して地域で暮らせるよう、毎日、または定期的に見守り活動を実施した。また、見守り報告会を9月と3月に実施した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
			4 災害時に支援を必要とする人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区内の3か所の避難所すべてに避難所運営委員会があり、避難訓練を実施した。 ・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施した。 ・地区部会の災害時の支援としては、火災や災害の被害にあった方に対し、見舞金制度を設けているが、令和7年度は見舞金の支払いはなかった。			
			5 すべての子どもを地域で育てる	予定：前年度同様の取組みを継続する。 清掃活動は予備日を設けて悪天候時に対応する(9月予定)。	・育成委員会が実施している年2回の川戸中学校区内パトロールに地区部会が協力した。 ・例年9月に川戸小学校、川戸中学校、川戸保育園地区の清掃活動を各種団体が連携し実施した。 ・子育てサロン「もーもークラブ」を年9回実施した。 ・地域住民がセーフティウォッチャーに協力した。 ・放課後子ども教室に地域住民が協力した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。			
	2 交流の場と仲間づくり	○	6 ふれあい・いきいきサロンの充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会を設け、フレイルの予防に努めたい。 いきいきサロンは、年12回の実施を予定している。	地区部会が、いきいきサロン「ひまわり会」を年12回実施した。 閉じこもりの高齢者に外出・交流を図る目的で、回数を増やすとともに、会員を増やすことができた。 いきいきサロン「ひまわり会」では、スポーツ振興会の協力でポッチャを取り入れるとともに、中央いきいきプラザの協力で健康テレビゲーム、脳トレ、体操等を取り入れ参加者の運動機能の向上を図った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 ＋サロン活動のメニュー充実を図る	
			7 地域での健康づくり支援の充実	【重点取組項目】 いきいきサロンにおけるポッチャなどを通して、地域の高齢者の閉じこもり防止や健康の維持増進を図る機会を設け、介護・フレイルの予防に努めたい。	スポーツ振興会が毎週日曜日にラジオ体操と散歩を実施した。 また、いきいきサロン「ひまわり会」では、スポーツ振興会の協力でポッチャを取り入れるとともに、中央いきいきプラザの協力で健康テレビゲーム、脳トレ、体操等を取り入れ高齢者の健康維持、運動機能の増進を図った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 ＋ひまわり会に体操インストラクターが参加し運動機能強化を図る	
		○	8 地域でのスポーツ活動及び文化活動の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。 盆踊りは名称を「夏祭」に変更する。	・地域の団体が「夏祭り(コミュニティづくり懇談会)」「運動会(スポーツ振興会)」「菊見会(連協)」「子ども会バザー(子ども会)」「正月の凧作り・凧揚げ(ふるさとづくりの会)」等を実施した。			
			9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサロンの実施を通して、地域の子育て中の親子の孤立化を防止し、仲間づくりの場を設けるよう努めたい。 子育てサロンについては年9回の実施を予定している。	地区部会が、子育てサロン「もーもークラブ」を年9回実施し、子育て支援を図った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様 ＋社協と連協とで高齢者と児童の交流を図る	
			10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会、民児協が障害者グループホーム「りべるたす」と家庭ごみ廃棄、買い物支援などで交流を図った。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 川戸地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
川戸地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 敬老会や各種行事の開催を通して、地域住民が世代の枠を超えて交流できる機会を創出した。	・地区部会主催の敬老会は、会場を借用している淑徳大学の改装工事のため中止した。 ・各団体が、夏祭り(コミュニティづくり懇談会)、スポーツ祭り(運動会)(スポーツ振興会)を実施した。また、公民館で餅つき大会を実施した。 ・地域の高齢者が川戸保育園の七夕まつりに協力した。	○	【重点取組項目】 前年度同様の取り組みを実施するとともに、敬老会を9月16日に開催する予定。	
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会や町内自治会等、地域団体の役員になっている方は、地域行事でスタッフとして活動した。 ・地区部会の見守り隊の協力員として参加している方に、その都度課題に対応していただいた。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	(No.10と同様)			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり		14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	予定：前年度同様の取組みを継続する。 また、介護教室と同時期に公民館主催事業の食の健康教室で共同実施(11/26実施予定)。	・地区部会と公民館共催で介護教室(運動に関すること)を11月に実施した(講師は中央区健康課)			
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。 見守り報告会において、あんしんケアセンター松ヶ丘より情報提供の予定。	・町内自治会長や民生委員が個別の相談対応を行った。 ・各町内自治会及び民児協より地区部会役員として選任されているため、地区部会の状況や対応内容等、情報がスムーズに流れるよう心掛けた。 ・見守り報告会で、あんしんケアセンター松ヶ丘より情報提供いただいた。			
		○	16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド&マップ」の活用	【重点取組項目】 広報誌の発行についての検討などを通して、地域での孤立化の解消を図れるよう努めたい。	・今年度も広報紙の発行は見合わせた。	×	【重点取組項目】 広報紙は、配布方法を検討し発行していきたい。	広報紙を全戸配布か、班・組単位で回覧するか検討する。
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。 なお、PTAは各種団体へ変更。 福祉講座も計画している。	・各種団体主催の餅つきやスポーツ振興会主催の運動会、地域のサークルと子育てサロン(もーもークラブ)との菊見会、川戸保育園の七夕まつり、中学校会場の夏祭り等、地域行事を通じて、高齢者と児童の交流を図っている。 ・落語、笑って健康になろう講座を実施した。			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会の見守り隊の協力員から、地域の犯罪被害に関する情報が届くこともある。 ・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施した。 ・学校とPTAが、夏休み、冬休み前の年2回、防犯パトロールを実施した。 ・「こども110番のいえ」に地域住民が協力した。			
			19 防災体制の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・町内自治会単位で防犯パトロールや防災訓練を実施した。			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 星久喜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針			
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り（感想）						
星久喜地区部会エリア	1 身近なコミュニ ティづくりの推進	○	1 地域の支え合いに関する協 議体等の設置・推進	【重点取組項目】 地域運営委員会など、地域内の各種団体のそれ ぞれの強みを活かしながら、地域団体事業日程調 整を行い理事会を開催することや、地域運営委員 会のホームページを更新し情報発信を行うなど、地 域課題の解決に向けて引き続き連携の強化を図り たい。	・地域運営委員会では、地域団体の事業の日程調整を行い、理事会を開催し、共通理解、 連携強化に努めた。 ・地域運営委員会のホームページを随時更新し、情報発信に努めた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様				
			2 支え合い活動の仕組みづく り	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・主に民生委員は個別の相談対応に当たっている。また、あんしんケアセンターなどにも相 談した。						
【人口・世帯数】 11,456人、6,095世帯			3 見守り体制をつくる	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・23町内自治会で、高齢者などに対し、各町内自治会の班長が、日常的な目配り、心配り による安否確認を行い、継続して見守り活動を行った。 各班長に「見守り協力員の証」を配布し、何か気づいたことがあれば、民生委員や町内自 治会長に連絡する体制を整えている。						
【町内自治会数】 24町内自治会			4 災害時に支援を必要とする 人の避難支援	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区内にある3か所の避難所全てに避難所運営委員会が設立されており、避難所ごとに 訓練を実施した。また、各町内自治会の班長が見守り協力員になっており、日常の見守り 活動を災害時にも生かす仕組みとしている。 ・町内自治会単位でも防災訓練を実施した。						
【高齢化率】 26.0%		○	5 すべての子どもを地域で育 てる	【重点取組項目】 セーフティウォッチャー活動や学区点検活動、各 種イベントの実施などを通して、子どもたちが地域 で安全かつ健やかに過ごせるような環境づくりに努 めたい。	・地区部会ボランティア及び青少年育成委員会等が、子どもたちの安全を守るため、毎日 の登下校時にセーフティウォッチャー活動を実施した。 ・青少年育成委員会が、長期休暇前の学区点検（危険個所など確認）を実施した。 ・育成委員会が書き初め練習会・書き初め展示会を実施し、子どもたちとの交流を図った。 ・育成委員会と公民館共催の「わくわくドキドキ夏祭り」において、スイカ割りや「怖い話」の 朗読を実施した。 ・地域運営委員会が星久喜小学校で「星フェス」を開催し、地区部会も輪投げコーナーを持 ち、地域の子どもたちと交流した。 ・スポーツ振興会主催のふれあい大運動会を開催した。	◎	【重点取組項目】 前年度同様				
【地域の特徴】 ○矢作町、星久喜町の一部、松ヶ丘町の一部、 青葉町の一部を対象としたエリア。 かつては純農村地帯だったが、東金有料道路 の開通・宅地化の波とともに、世帯数も増加し た。「千葉市都市緑化植物園」「青葉の森公園」 などの公共施設があり、緑に囲まれ恵まれた環 境にある。											
実施事業			実施に○印								
いきいきサロン			○								
子育てサロン			○								
散歩クラブ			-								
広報紙	○										
ボランティア講座	○										
ふれあい食事サービス	-										
敬老会	-										
見守り活動	○										
支え合い活動	-										
	2 交流の場と仲間 づくり	○	6 ふれあい・いきいきサロンの 充実	【重点取組項目】 いきいきサロンの実施を通して、地域の高齢者の 閉じこもり防止や仲間づくり、社会参加を図る機会 を設け、フレイルの予防に努めたい。	・地区部会が70歳以上の高齢者を対象に、青葉の森公園・都市緑化植物園の散策・クリ スマスお楽しみ会などのいきいきサロンを年7回（うち1回は落語）実施し、高齢者の仲間 づくりや健康維持に取り組んだ。 ・地域運営委員会（地区部会も協力）で脳トレサロンを前期9回、後期9回開催し、高齢者 の認知症やフレイルの予防に取り組んだ。	◎	【重点取組項目】 前年度同様				
			7 地域での健康づくり支援の 充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。 また、星フェスにおいて輪投げゲームを行い、小 さなお子さんから高齢者まで様々な世代での健康づ くりを推進する。	・スポーツ振興会が中心となって、グラウンドゴルフ大会などを開催した。 ・スポーツ振興会が実施している「ふれあい大運動会」では、高齢者が参加する競技を取り 入れた。 ・いきいきサロンでも、青葉の森公園や都市緑化植物園での散策が行われた。 ・青葉の森ラジオ体操会が、青葉の森公園中央広場で、毎朝、ラジオ体操を行った。 ・一部の町内自治会が、あんしんケアセンター松ヶ丘と連携し、介護予防や健康づくりの取 り組みを行った。 ・脳トレサロンにおいて、笑いヨガ・体操の時間を設けた。 ・民児協とスポーツ振興会でポッチャ教室を開催した。						
			8 地域でのスポーツ活動及び 文化活動の推進	予定：育成委員会と地区部会とで書初め練習会と 展示会をそれぞれ開催する。	・育成委員会と地区部会が、令和7年末に書初めの練習会・令和8年の年明けに書初め展 示会をそれぞれ開催した。						
			○	9 子育てサロンの充実	【重点取組項目】 子育てサロンの実施を通して、地域の子育て中 の親子の孤立化を防止し、仲間づくりの場を設ける よう努めたい。	地区部会が、子育て中の親子を対象に、年10回都市緑化植物園のお散歩、読み聞か せ、歯科衛生士のお話、栄養士のお話、クリスマスお楽しみ会、七夕等を内容とした子育 てサロン「トントんルーム」を実施し、仲間づくりに取り組んだ。	◎	【重点取組項目】 前年度同様			

中央区支え合いのまち推進計画の推進状況(令和7年度)個票 星久喜地区部会

地区部会エリア	基本方針	重点 取組 項目	取組項目	令和7年度		達成 状況	令和8年度 目標又は予定	今後の課題と方針
				目標又は予定	実績 ※任意記載として、振り返り(感想)			
星久喜地区部会エリア	2 交流の場と仲間づくり	○	10 障がい者との相互理解と地域住民等との交流の推進	【重点取組項目】 地域において障がい者が活動できる機会を設け、障がい者と地域住民が相互理解できるよう努めたい。 公民館文化祭において、作業所作品販売が行われるようであれば、協力を行う予定である。 また、障害者福祉委員会で新たな交流事業を検討する。	・公民館文化祭は開催されたが、作業所作品販売がなく、障がい者福祉委員会によるお手伝いは中止となったため、代替の活動について検討中。	△	【重点取組項目】 前年度同様	
			11 世代間交流と生涯活躍の場の提供	【重点取組項目】 日帰りバス旅行や、地域運営委員会主催の「星フェス」の実施などを通して、地域住民が世代の枠を超えて交流できる機会を創出したい。	・「バス日帰り旅行」を年2回実施した。(11月 佐原／3月 葛西臨海水族園) ・地域運営委員会が星久喜小学校で「星フェス」を開催し、地区部会も輪投げコーナーを持ち、世代間交流を行った。 ・育成委員会が地域小中学生と高齢者施設での交流事業を行った。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
	3 社会参加の推進		12 高齢者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・毎朝、星久喜小学校通学路においてセーフティウォッチャー活動を実施した。 ・地区部会として、自治会での防犯パトロールなどへ協力した。			
			13 障がい者の地域社会での福祉活動の促進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・地区部会があんしんケアセンターと協力し、MCI研修会を開催し、介護と障害者福祉への理解を進めた。			
	4 地域の福祉力向上、担い手づくり	○	14 地域福祉活動に参加する機会の提供や地域福祉に関する講座の開催	【重点取組項目】 福祉講座の開催を通して、地域住民が地域福祉活動に参加するきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。	・地区部会があんしんケアセンターと協力し、MCI研修会を開催したほか、各種講座開催について検討を進めた。	◎	【重点取組項目】 前年度同様	
	5 相談体制、情報提供の場づくり		15 相談体制・情報提供の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・民生委員や地区部会事業のボランティアが個別の相談対応に当たり、地区部会役員はパイプ役を担った。 ・認知機能の低下を防ぐ効果が期待できることから、脳トレを月2回2会場で開催した。併せて、参加者の相談に対応するため、あんしんケアセンターと連携した。			
			16 福祉情報紙の充実と「中央区ふくし・防災ガイド＆マップ」の活用	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・広報紙「ふくし」を年3回発行した。 ・地区部会が作成した緊急ノートを独居と75歳以上高齢者を対象に配布しており、対象世帯と民生委員がそれぞれ保管している。			
	6 福祉教育の推進		17 地域での福祉教育の推進	目標： 福祉講座の開催を通して、地域住民が地域福祉活動に参加するきっかけづくりの場を設けるよう努めたい。	(No.14と同様)			
	7 人にやさしい生活環境づくり		18 防犯対策の推進	予定：前年度同様の取組みを継続する。	・育成委員会の声掛け協力により「こども110番のいえ」を実施している(約100軒)。 ・一部の町内自治会では、防犯パトロールを実施した。			
			19 防災体制の充実	予定：前年度同様の取組みを継続する。	(No.4と同様)			